



# HP Latex 2700 プリンタ シリーズ インク コレクター ユーザー ガイド

Microsoft Translator (マイクロソフト翻訳) による自動翻訳です。

## 概要

製品の使用方法です。

## このエディションについて

© Copyright 2024 HP Development  
Company, L.P.

第 2024 年 4 月 3 日版

### 法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する保証書の明示的な記載内容に限られます。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

---

# 目次

<b>1 インク コレクターの使用</b> .....	<b>1</b>
キットのコンポーネント.....	1
キットの取り付け.....	2
キットの取り外し.....	5
<b>2 インクコレクターのメンテナンス</b> .....	<b>6</b>
メンテナンス操作の要約.....	6
インク コレクター モジュールのリブを拭く.....	6
出力プラテンをクリーニングする.....	7
出力プラテンをクリーニングするための準備.....	7
硬化アセンブリの引き出し.....	7
出力プラテンをクリーニングする.....	9
出力プラテンのクリーニングの完了.....	9
エアロゾル ノズルのプレートとフィルタのクリーニング.....	9
インク コレクター モジュールを拭く.....	13
プリンタのメンテナンス.....	13
硬化リップ.....	13
ボトム プレート.....	15
ダイバーター インターホイール.....	16
硬化ファンのクリーニング.....	16
印刷領域をクリーニングする.....	18
印刷領域をクリーニングするための準備.....	18
エッジホルダーの取り外し(使用している場合).....	19
プラテンのクリーニング.....	19
素材送りセンサーのクリーニング.....	19
素材送りセンサーのクリーニング.....	19
素材送りセンサーをクリーニングするための準備.....	20
素材送りセンサーのクリーニング.....	20
素材送りセンサーのクリーニングの完了.....	22
インク コレクターのフォームを交換する.....	22
キャリッジとラインセンサの下部をクリーニングする.....	23
キャリッジの底部をクリーニングします.....	23

すべてのスロットをクリーニングする(プリンタの前面および背面).....	28
2700Wのみ: プリントヘッドスロット1および7: アンダーキャリッジプロテクタのリブをク リーニングする .....	30
クリーニング操作を完了する .....	33
インクコレクター セントラル リブのクリーニング .....	35
CK ストレージ ボックスとカラーキャリブレーション センサー ボックスのクリーニング .....	36
CK ストレージ ボックスのクリーニング .....	37
カラーキャリブレーション センサー ボックスのクリーニング .....	41
乾燥ディフューサーのクリーニング .....	43
硬化衝突プレート (外部) と硬化ファンをクリーニングする .....	45
硬化衝突プレート (外側) のクリーニング .....	45
硬化ファンのクリーニング .....	47
硬化モジュールンの多孔プレートをクリーニングする .....	48
凝縮液、ウィンドウのゴム、下部プレート面の確認とクリーニング .....	48
インクコレクター対応の素材のトラブルシューティング .....	48
インク コレクター対応の素材にマークが付く .....	48
粒状感と鮮明でないテキスト .....	49
色の一貫性 .....	49



---

# 1 インクコレクターの使用

多孔性素材(テキスタイルメッシュ、フラッグ、ボイルなど)にプリントする前に、アクセサリとして使用できるインクコレクターキットを取り付けて、素材を伝って落ちるインクからプリンタを保護する必要があります。

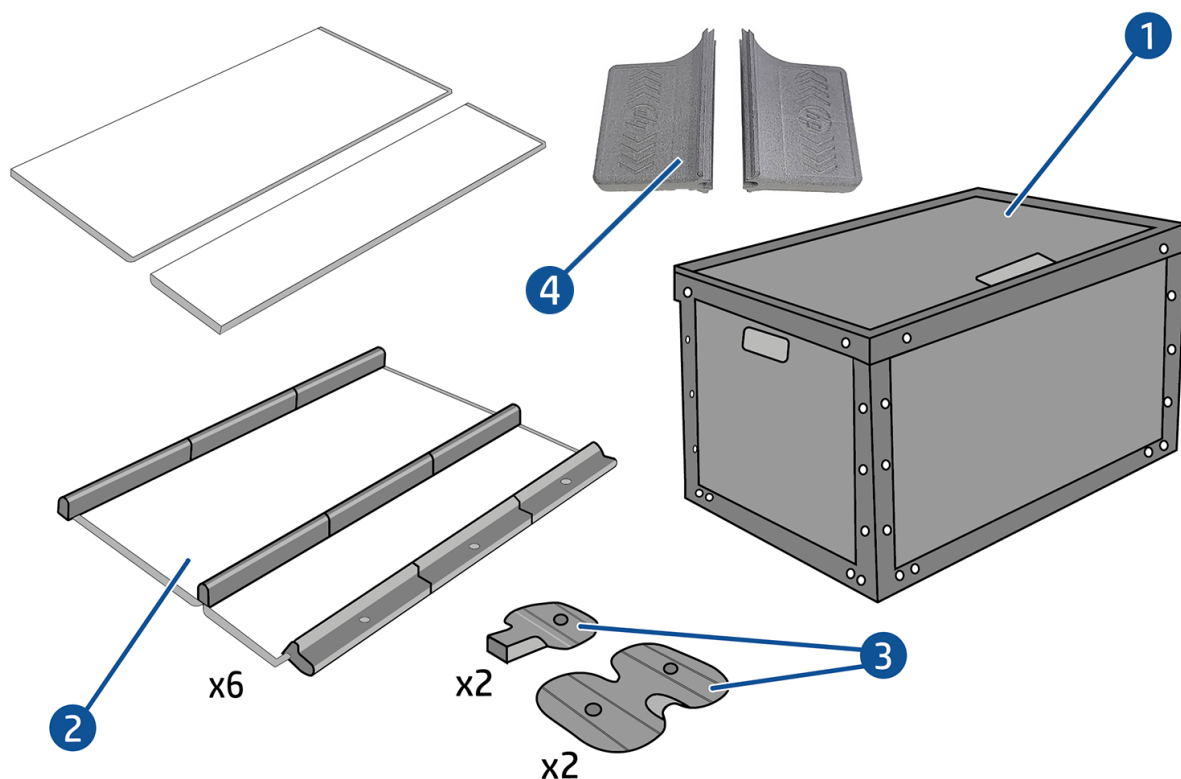
非多孔性素材に印刷する場合は、その前にインクコレクターキットを取り外す必要があります。

- ⚠ **注意:** 素材の動作温度が製造元の推奨を超えていないことを確認してください。この情報が手元にならない場合は、製造元にお問い合わせください。125°C以上の動作温度で使用できない素材を取り付けないでください。
- ⚠ **注意:** プリンタが本来の目的のために安全に動作するように、適切なメンテナンスと HP 純正の消耗品が必要です。HP 製以外の消耗品(フォーム、フィルタ、プリントヘッドクリーナのロール、およびインク)を使用すると、火災が発生する恐れがあります。
- ⚠ **注意:** 自動発火温度が 250°C ( ) 未満の素材は取り付けないでください。素材を発火源に近づけないでください。


素材の多孔性の確認方法など、詳細についてはプリンタのユーザーガイドを参照してください。

## キットのコンポーネント

キットは、インクコレクター、エッジホルダー、2つのクリーニングツール、およびコンテナで構成されています。








1. インクコレクターコンテナ
2. 2つの交換可能フォーム付きインクコレクター 6枚
3. インクコレクターのエッジホルダー 4つ
4. 中央リブクリーニングツール 2個


 **注記**：インクコレクター部品を使用しなくなったときに保護および保存できるように、インクコレクターコンテナとプロテクタ芯は保管しておきます。

## キットの取り付け

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

表11 警告ラベル


火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部品に注意	感電による危険
				
安全性の詳細については、プリンタのユーザーガイドを参照してください。				

 **ヒント**：手袋をはめることをお勧めします。




1. プリンタでプリントが行われていないことを確認してください。
2. 素材が取り付けられている場合は取り外してください。次に、エッジホルダーを素材経路から取り外します。
3. モジュールを簡単に取り付けるには、[キャリッジビームを取り付け位置まで上げる] ボタンをクリックして、キャリッジビームを取り付け位置まで上げることをお勧めします。
4. すべてのウィンドウ、カバー、およびドアが閉じていて、元の位置にあることを確認します。
5. インクコレクターコンテナを開き、インクコレクターのフォームに汚れがなく乾いており、使用できることを確認します。

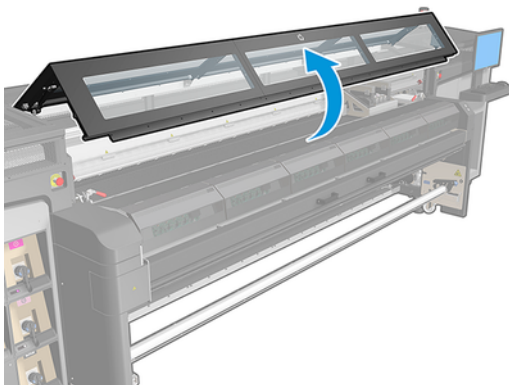
フォームが与えられたスペースに収まっていることも確認します。フォームが膨張してスペースに収まらない場合は交換します。

 **注記:** 使用済みのフォームは正しく廃棄してください。国/地域の行政機関からのガイドラインを参照してください。


6. Internal Print Server に移動して、メイン画面上の[インクコレクターの取り付け] ボタンをクリックします。
7. Internal Print Server の指示に従って取り付けを完了します。詳細な情報が必要な場合は、以下の手順をお読みください。

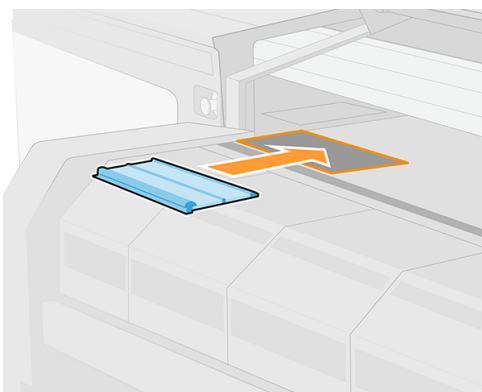
 **注意:** 正しくキットを取り付けないと、プリンタの一部が損傷する場合があります。

8. モジュールを簡単に取り付けるには、キャリッジビームを取り付け位置まで上げることをお勧めします。
9. ウィンドウを開きます。

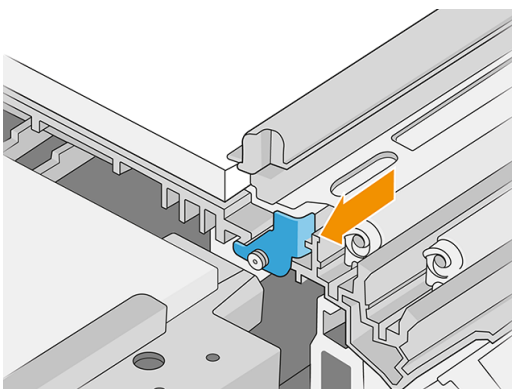


10. 左側の前面から、1つ目のモジュールを取り付け、ガイドに差し込みます。

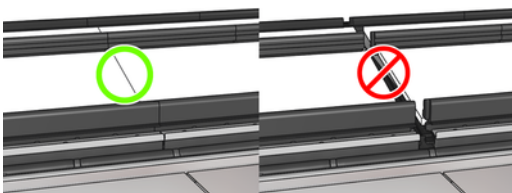
 **注記:** この時点で、キャリッジビームが上がっている場合はアクセスしやすくなります。



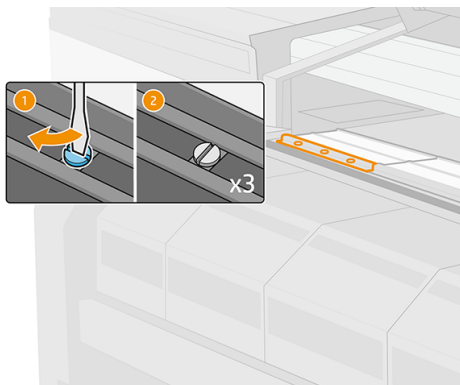
11. モジュールを、中央に向かって停止するまでスライドさせます。



12. 左から右にインクコレクターモジュールをすべて挿入します。
13. 挿入した各モジュールを、すでに所定の位置にあるモジュールに取り付けます。
14. すべてのインクコレクターのモジュールが互いにぴったり合って隙間がないことを確認します。




15. すべてのモジュールを、抵抗が出るまで各ネジを時計回りに回してロックします。1/4以下のターンが必要です。破損の原因となる可能性があるため、無理な力を使わないでください。マイナスインスライバが必要な場合があります。



## キットの取り外し

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

 **ヒント**：手袋をはめることをお勧めします。



1. 素材を取り外し、アウトプットスピンドルを取り外します。
2. **[キャリッジビームを上げて位置をインストールする]**をタップします。
3. 硬化モジュールとラッチを閉じます。
4. 各モジュールの3つのラッチを開きます。
5. プリンタの前面から、各モジュールを取り外します。
6. **[完了]**をタップして、取り外しプロセスを完了します。キャリッジビームが下に移動し、確認のためにキャリッジがプラテンに沿って移動します。
7. フォームを交換する必要があるかどうかを確認します。必要に応じて交換してください。フォームはラッチを上にして、インクコレクターコンテナに保管します。コンテナにはエッジホルダーを保管することもできます。
8. キットを取り外した後は、推奨されるメンテナンス操作を実行します ([6 ページの「メンテナンス操作の要約」](#)を参照)。

## 2 インクコレクターのメンテナンス

インクコレクターとプリンタの関連パーツには、定期的なメンテナンスが必要です。

### メンテナンス操作の要約

このトピックには、このテーマのリファレンス情報がすべて掲載されています。


表 2-1 メンテナンス作業

周波数	メンテナンス操作
各ロール紙の終了時	<a href="#">6 ページの「インク コレクター モジュールのリブを拭く」</a>
	<a href="#">7 ページの「出力プラテンをクリーニングする」</a>
	<a href="#">9 ページの「エアロゾル ノズルのプレートとフィルタのクリーニング」</a> (ホワイトインクのみ)
インク コレクター キットを取り外した後	<a href="#">9 ページの「エアロゾル ノズルのプレートとフィルタのクリーニング」</a>
	<a href="#">13 ページの「インク コレクター モジュールを拭く」</a>
	<a href="#">13 ページの「プリンタのメンテナンス」</a>
	<a href="#">18 ページの「印刷領域をクリーニングする」</a>
	<a href="#">19 ページの「素材送りセンサーのクリーニング」</a>
インク 34 リットルごと	<a href="#">22 ページの「インク コレクターのフォームを交換する」</a>
ホワイトインク 25 リットルごと	<a href="#">22 ページの「インク コレクターのフォームを交換する」</a>
	<a href="#">23 ページの「キャリッジとライン センサの下部をクリーニングする」</a>
	<a href="#">35 ページの「インクコレクター センtral リブのクリーニング」</a>
	<a href="#">36 ページの「CK ストレージ ボックスとカラーキャリブレーション センサー ボックスのクリーニング」</a>
	<a href="#">43 ページの「乾燥ディフューサーのクリーニング」</a>
インク 500 リットルごと	<a href="#">45 ページの「硬化衝突プレート (外部) と硬化ファンをクリーニングする」</a>

### インク コレクター モジュールのリブを拭く

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. インク コレクター モジュールのリブを、イソプロピル アルコールで湿らせた糸くずの出ない布で拭きます。






 **注記**：揮発性有機化合物 (VOC) によるクリーニング用およびメンテナンス用の液体が規制されている国/地域 (カリフォルニア州など) にお住まいの方は、イソプロピル アルコールの代わりに VOC 関連の認証を受けた洗剤 (適切に希釈されたシンプルグリーン多目的洗剤など) を使用してください。

2. ウィンドウを閉じます。

## 出力プラテンをクリーニングする

以下のセクションでは、このトピックについて詳しく説明します。

表 2-2 警告ラベル

火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部品に注意	感電による危険
				
安全性の詳細については、プリンタのユーザー ガイドを参照してください				

出力プラテンは、2 列のプラスチック ランプを備えたプレーン シート メタルで構成されています。

### 出力プラテンをクリーニングするための準備

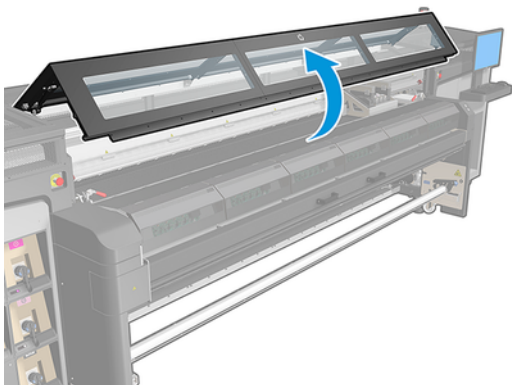
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. プリンタでプリントが行われていないことを確認してください。
2. 素材を取り外します。
3. 硬化モジュールの温度が下がるまで待ちます (約 5 分)。

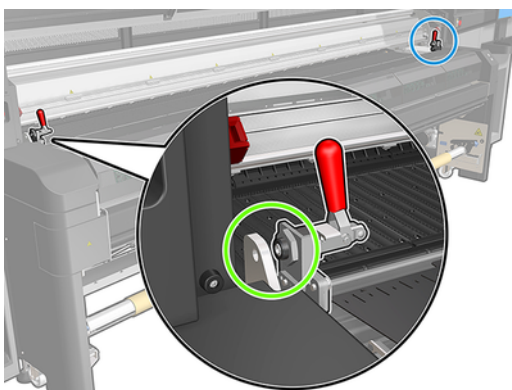
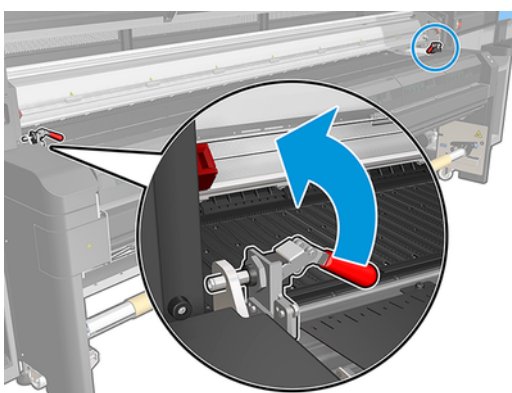
### 硬化アセンブリの引き出し

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. ウィンドウを開きます。

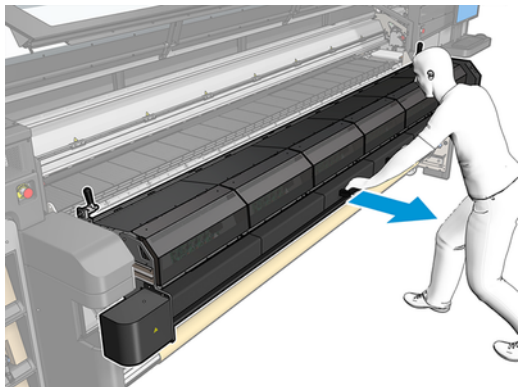


2. 硬化モジュール ラッチを開きます。






- 硬化アセンブリを引き出します。



## 出力プラテンをクリーニングする

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

- 出力プラテンをクリーニングするには、硬化モジュールの上部からアクセスします。

 **注記:** 揮発性有機化合物 (VOC) によるクリーニング用およびメンテナンス用の液体が規制されている国/地域 (カリフォルニア州など) にお住まいの方は、イソプロピルアルコールの代わりに VOC 関連の認証を受けた洗剤 (適切に希釈されたシンプルグリーン多目的洗剤など) を使用してください。

## 出力プラテンのクリーニングの完了






以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. 硬化アセンブリを動作位置に押し戻します。
2. 硬化ラッチを閉じます。
3. スピンドルを所定の位置に戻します。
4. クリーニングした部分が完全に乾いており、蒸気が完全に蒸発していることを確認します。

## エアロゾル ノズルのプレートとフィルタのクリーニング

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

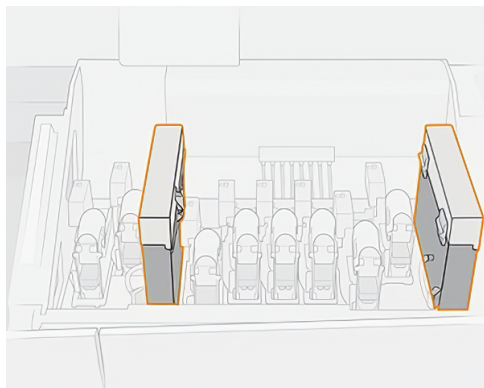
表 2-3 警告ラベル

火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部品に注意	感電による危険
				

安全性の詳細については、プリンタのユーザーガイドを参照してください。

最適なパフォーマンスと信頼性を維持するため、エアロゾル ノズル プレートとフィルタをきれいな状態で保つ必要があります。ノズル プレートがハイ キャリッジ ビームまたはテキスタイル マテリアル

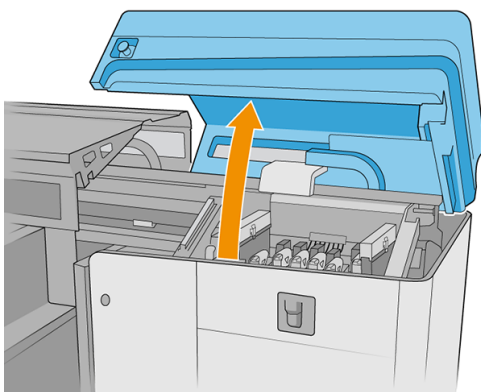
を使用するプリント条件の場合、より多くのエアゾールが生成されます。この場合、エアゾール除去ノズルまたはフィルターが遮断される可能性があります。



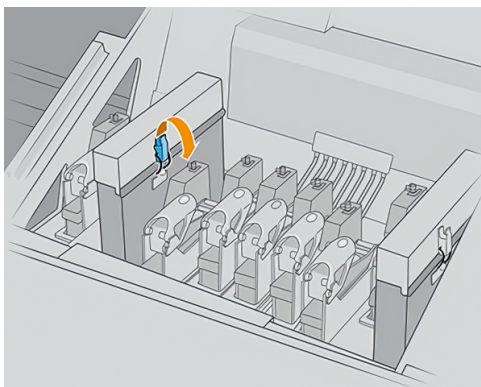
1. プリンタでプリントが行われていないことを確認してください。
2. すべてのウィンドウ、カバー、ドアが閉じていて、元の位置にあることを確認してください。



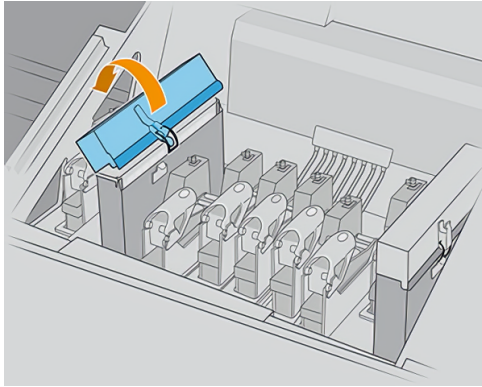
3. キャリッジカバーを開きます。



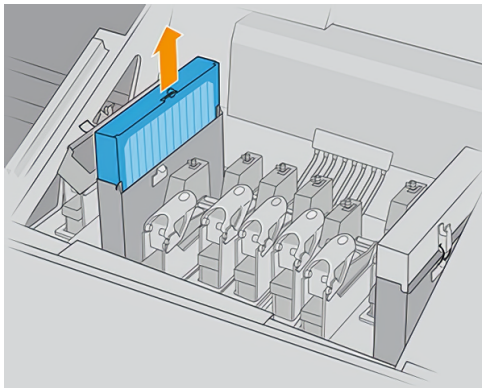
4. 各エアゾール フィルタ モジュールの右側にあるラッチを開きます。



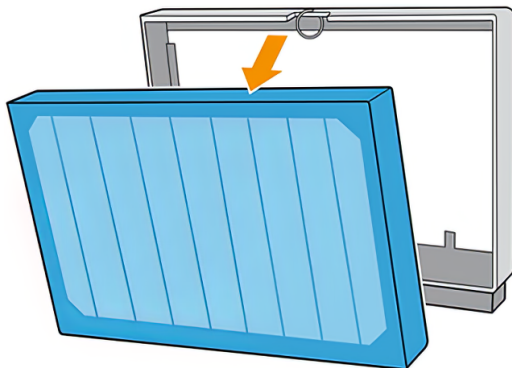
5. 各フィルタのカバーを開きます。



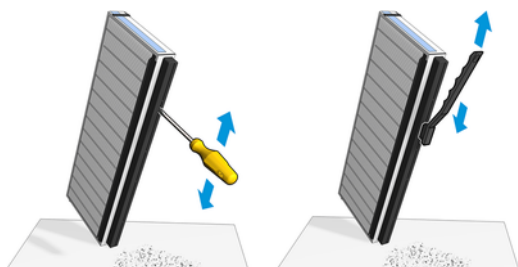
6. ハンドルを使用して、エアゾールフィルタを両方とも取り外します。




7. フレームから両方のフィルタを取り外します。

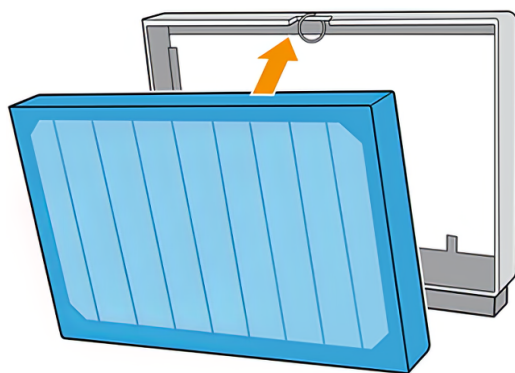


8. マイナスドライバーを使用して乾燥したエアゾールを除去し、ブラシを使用して残りの汚れを取り除きます。取り除こうとした汚れがフィルタ内に落ちないようにしてください。

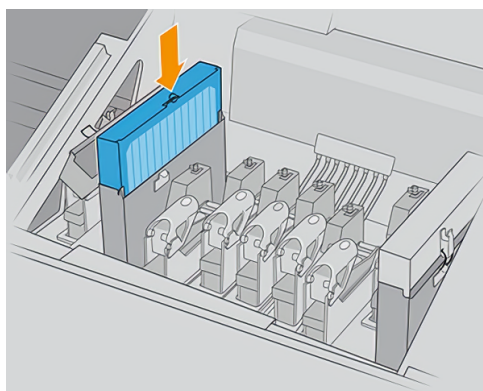


9. 両方のフィルタをフレームに戻します。

 **重要：**新品への交換をプリンタに指示していない限り、使用していた同じフィルタを取り付け直してください。

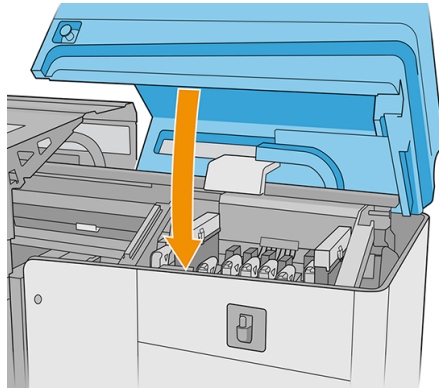


10. 両方のフィルタを再び取り付けます。フィルタは特定の方向からしか差し込むことができません。抵抗がある場合は、フィルタを逆に挿入してみてください。



11. カバーを閉じます。  
12. ラッチを閉じます。

13. キャリッジカバーを閉じます。



## インクコレクターモジュールを拭く

インクコレクターモジュールをプリンタから取り外した状態で、表面の汚れをすべて拭きます。必要に応じて、フォームを交換します。

- △ 注意：**プリンタが本来の目的のために安全に動作するように、適切なメンテナンスと HP 純正の消耗品が必要です。HP 製以外の消耗品 (フォーム、フィルタ、プリントヘッドクリーナのロール、またはインク) を使用すると、火災が発生する恐れがあります。

## プリンタのメンテナンス

まずはプリンタの電源がオフになっていることを確認し、安全に関する適切な注意事項に従うように注意してください。

表 2-4 警告ラベル

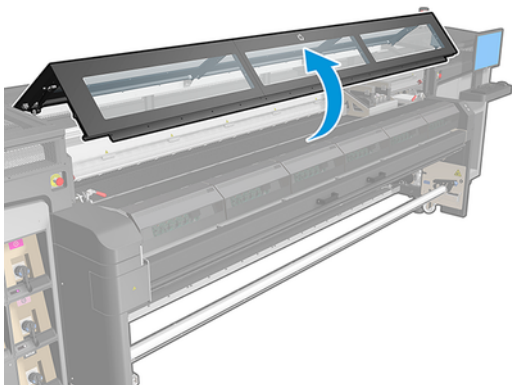
火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部品に注意	感電による危険
安全性の詳細については、プリンタのユーザー ガイドを参照してください				

インクコレクターキットの使用後は、プリンタの以下の部品が汚れている可能性があります。以下の手順に従って確認します。

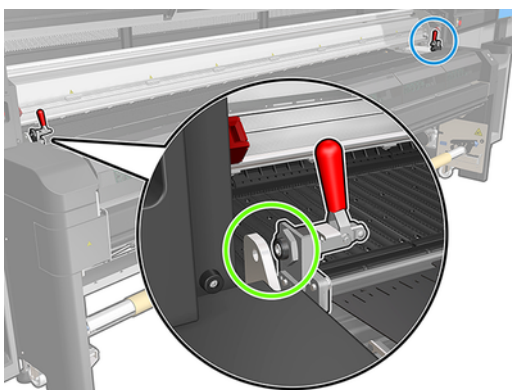
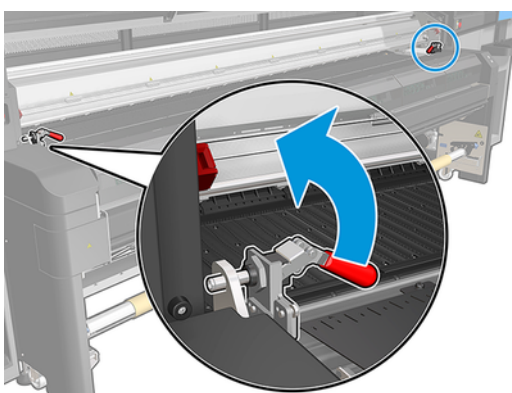
## 硬化リップ

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. ウィンドウを開きます。

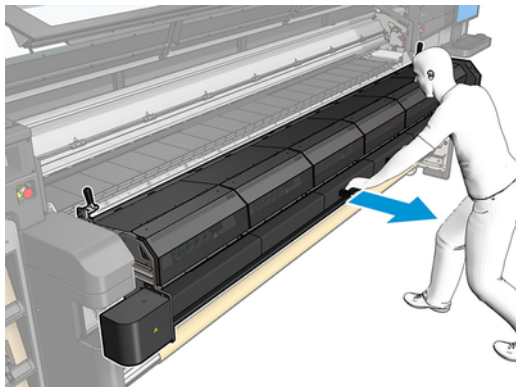


2. 硬化モジュール ラッチを開きます。





3. 硬化モジュールを開きます。

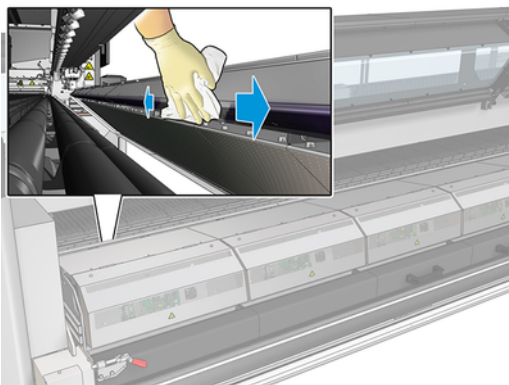


⚠ **注意**：硬化モジュールの温度が下がるまで待ちます。



4. イソプロピルアルコールで湿らせた糸くずの出ない布で硬化リップを拭きます。印刷前にプラテンが乾燥していることを確認します。

📝 **注記**：揮発性有機化合物 (VOC) によるクリーニング用およびメンテナンス用の液体が規制されている国/地域 (カリフォルニア州など) にお住まいの方は、イソプロピルアルコールの代わりに VOC 関連の認証を受けた洗剤 (適切に希釈されたシンプルグリーン多目的洗剤など) を使用してください。

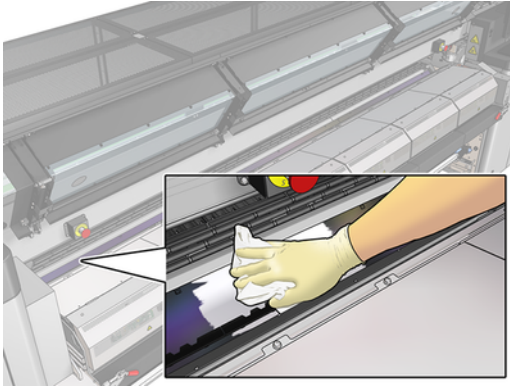


## ボトムプレート

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

- イソプロピルアルコールで湿らせた糸くずの出ない布でボトムプレートを拭きます。印刷前にプラテンが乾燥していることを確認します。


📝 **注記**：揮発性有機化合物 (VOC) によるクリーニング用およびメンテナンス用の液体が規制されている国/地域 (カリフォルニア州など) にお住まいの方は、イソプロピルアルコールの代わりに VOC 関連の認証を受けた洗剤 (適切に希釈されたシンプルグリーン多目的洗剤など) を使用してください。

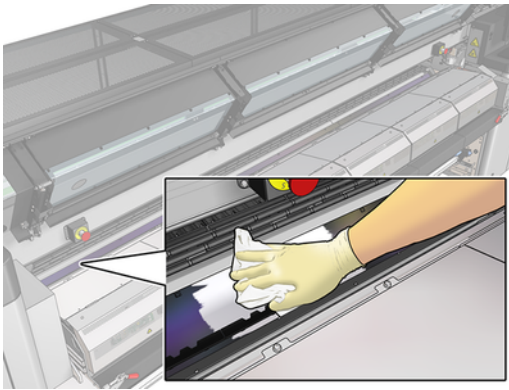


## ダイバーターインターホイール

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. イソプロピルアルコールで湿らせた糸くずの出ない布でダイバーターインターホイールを拭きます。印刷前にプラテンが乾燥していることを確認します。

 **注記：**揮発性有機化合物 (VOC) によるクリーニング用およびメンテナンス用の液体が規制されている国/地域 (カリフォルニア州など) にお住まいの方は、イソプロピルアルコールの代わりに VOC 関連の認証を受けた洗剤 (適切に希釈されたシンプルグリーン多目的洗剤など) を使用してください。



2. 硬化モジュールとウィンドウを閉じます。

## 硬化ファンのクリーニング

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

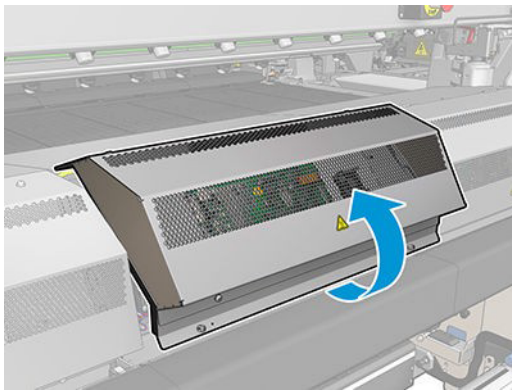
1. プリンタでプリントが行われていないことを確認してください。
2. プリンタと電源スイッチをオフにします。



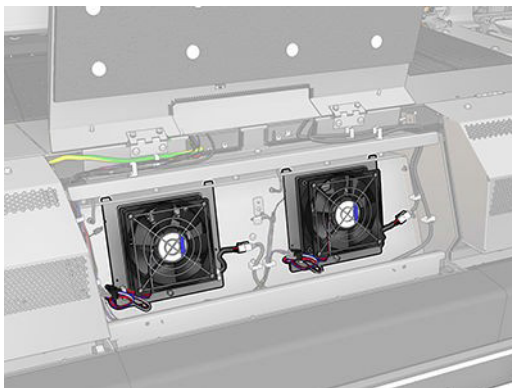
3. ドライバを使用して、硬化モジュールのネジを外します。



4. PCA モジュールを上げて、内側に手が届くようにします。



5. ファンをクリーニングします。








6. PCA モジュールを閉じます。
7. ネジを再度挿入してドライバで締めることにより、硬化モジュールを固定します。
8. プリンタの電源を入れます。

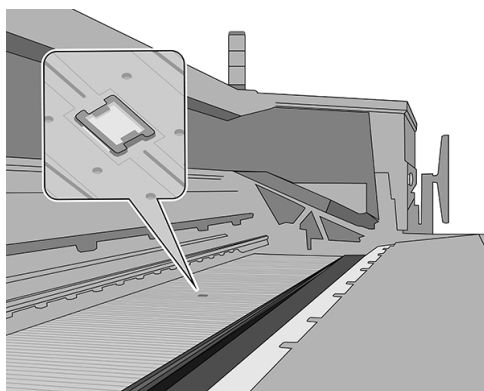
## 印刷領域をクリーニングする

プラテンは、目に見えて汚れているときや、素材の裏面の痕に気付いたときは必ず、クリーニングしてください。

表 2-5 警告ラベル

火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部品に注意	感電による危険
				
安全性の詳細については、プリンタのユーザーガイドを参照してください				

プラテンをクリーニングする前に、プラテンの真ん中にある素材送りセンサーを確認してください。クリーニングしますが、傷が付かないように注意してください。



左右のマージンを非常に小さくし、素材のエッジホルダーを使用して印刷することがある場合、エッジホルダーにインクが蓄積し、印刷物が汚れたり、プリントヘッドのノズルが詰まることがあります。

素材のエッジホルダーストリップに乾燥したインクの付着などの問題がないかどうかを週1回確認します。必要に応じてストリップを新しいものに交換します。プリンタのユーザーガイドを参照してください。

## 印刷領域をクリーニングするための準備

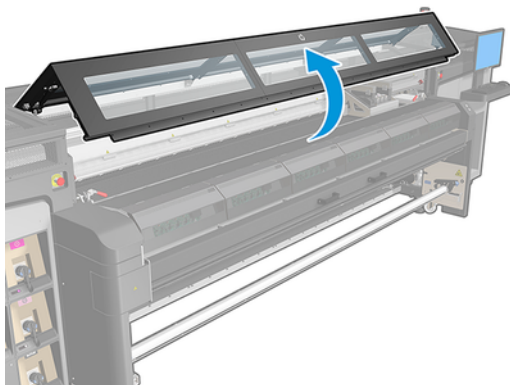
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. プリンタに付属の HP Latex 3000 プリンタ クリーニング キットがあることを確認します。
2. プリンタでプリントが行われていないことを確認してください。
3. 素材を取り外します。
4. すべてのウィンドウ、カバー、ドアが閉じていて、元の位置にあることを確認してください。
5. キャリッジビームを一番上の位置に移動します(この操作には約2分かかります)。

6. メンテナンス操作をするために、適切な方法でプリンタの電源をオフにします(プリンタのユーザーガイドを参照)。



7. ウィンドウを開きます。



## エッジホルダーの取り外し(使用している場合)


以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. プラテンから2つの素材のエッジホルダーを取り外します。
2. 必要に応じてエッジホルダーストリップを交換します。プリンタのユーザーガイドを参照してください。

## プラテンのクリーニング

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

- イソプロピルアルコールで湿らせたきれいな布でプラテンをクリーニングします。印刷前にプラテンが乾燥していることを確認します。

 **注記:** 揮発性有機化合物(VOC)によるクリーニング用およびメンテナンス用の液体が規制されている国/地域(カリフォルニア州など)にお住まいの方は、イソプロピルアルコールの代わりにVOC関連の認証を受けた洗剤(適切に希釈されたシンプルグリーン多目的洗剤など)を使用してください。

## 素材送りセンサーのクリーニング

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

- を参照してください [19 ページの「素材送りセンサーのクリーニング」](#)。

## 素材送りセンサーのクリーニング

以下のセクションでは、このトピックについて詳しく説明します。

表 2-6 警告ラベル

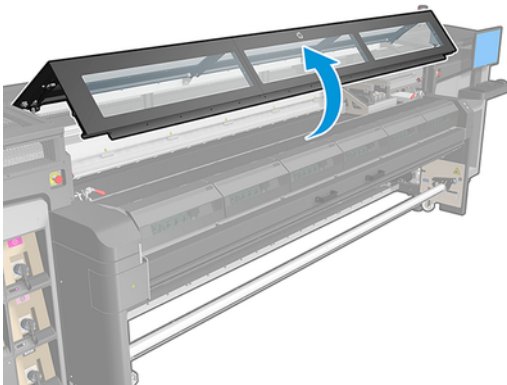
火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部に注意	感電による危険
				
安全性の詳細については、プリンタのユーザーガイドを参照してください				

多孔性素材または多孔性のライナー付き素材はサポートされていません。プリンタで使用しないでください。ただし、非多孔性素材を使用する通常の印刷条件下でも、汚れ、ほこり、インクエアロゾルが素材送りセンサーウィンドウに達し、センサーのパフォーマンスが低下する場合があります。

## 素材送りセンサーをクリーニングするための準備

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

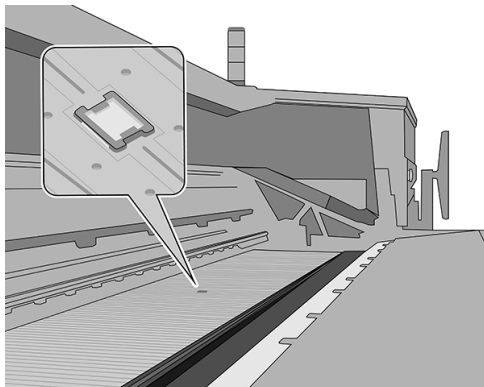
1. プリンタに付属の HP Latex 1500 プリンタ クリーニングキットがあることを確認します。
2. プリンタでプリントが行われていないことを確認してください。
3. 素材を取り外します。
4. すべてのウィンドウ、カバー、およびドアが閉じていて、元の位置にあることを確認します。
5. ウィンドウを開きます。




## 素材送りセンサーのクリーニング

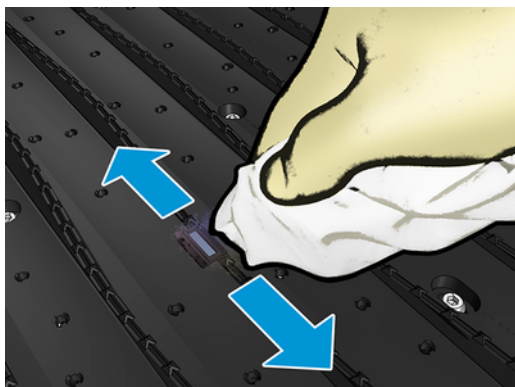
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. プラテンの中央にあるセンサーを確認します。

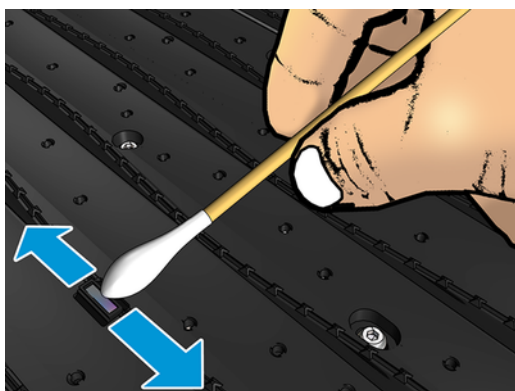


2. イソプロピルアルコールで湿らせたきれいな布でセンサーの周りのプラテン領域を完全にクリーニングします。


 **注記：**揮発性有機化合物 (VOC) によるクリーニング用およびメンテナンス用の液体が規制されている国/地域 (カリフォルニア州など) にお住まいの方は、イソプロピルアルコールの代わりに VOC 関連の認証を受けた洗剤 (適切に希釈されたシンプルグリーン多目的洗剤など) を使用してください。



3. プリンタクリーニングキットに含まれる1本の綿棒を、蒸留水 (乾いたインクの除去に必要な場合は IPA (イソプロピルアルコール)) で (浸さないようにして) 少し湿らせ、センサーウィンドウを拭きます。センサーウィンドウに乾燥したインクが大量に付いている場合、拭くときに少し圧力をかけないと、綿にインクが吸収されないことがあります。



- 綿に汚れが付かなくなり、センサー ウィンドウに汚れが見えなくなるまで新しい綿棒でクリーニングを続けます。

 **ヒント:** 周囲の照明が反射するとき、クリーニング センサー ウィンドウの表面全体が一様に青色に反射します。近づいて、視点を少し変えることによってこの反射を確認できます。


## 素材送りセンサーのクリーニングの完了

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

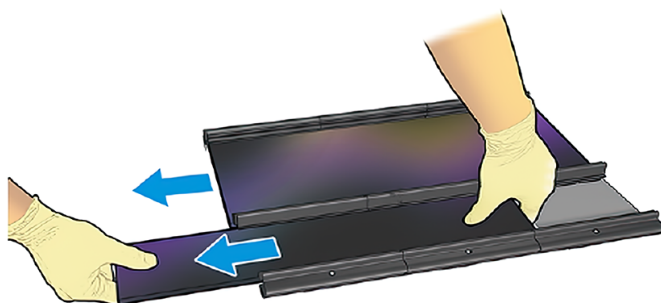
- アルコールが完全に気化するまで3~4分待機します。
- ウィンドウを閉じます。
- すべてのウィンドウ、カバー、およびドアが閉じていて、元の位置にあることを確認します。
- キャリッジビームを通常の位置に戻します。
- 診断テストを実行し、センサーが正しく動作していることを確認します。


## インクコレクターのフォームを交換する

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。


 **ヒント:** プリンタにインクが落ちないように、この手順はプリンタから離れて行ってください。

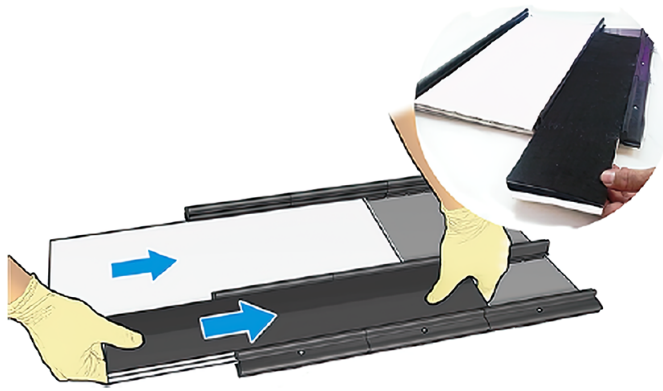
- 汚れている古いフォームをスライドさせて取り外します。



 **注記:** 古いフォームの正しい廃棄方法については、国/地域の行政機関にお問い合わせください。

- 新しいフォームをスライドさせて取り付けます。

 **注意:** プリンタが本来の目的のために安全に動作するように、適切なメンテナンスと HP 純正の消耗品が必要です。HP 製以外の消耗品 (フォーム、フィルタ、プリントヘッドクリーナのロール、またはインク) を使用すると、火災が発生する恐れがあります。



## キャリッジとラインセンサの下部をクリーニングする

以下のセクションでは、このトピックについて詳しく説明します。

表 2-7 警告ラベル

火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部品に注意	感電による危険
安全性の詳細については、プリンタのユーザーガイドを参照してください				

これらのクリーニング操作では、手袋の着用をお勧めします。

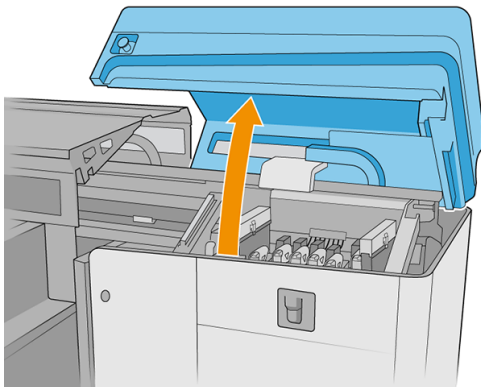


### キャリッジの底部をクリーニングします

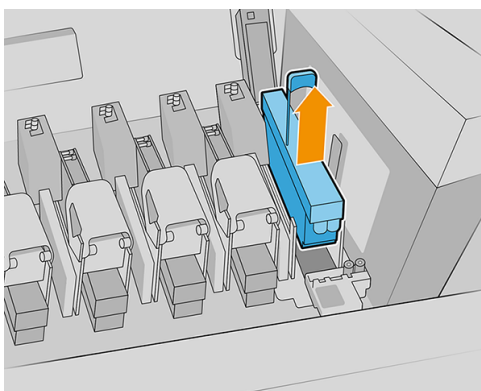
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。



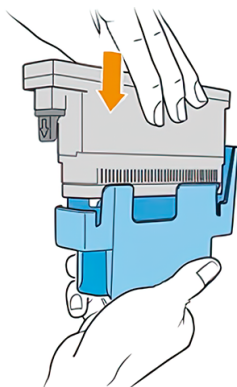
1. キャリッジカバーを開きます。



2. プリンタからプリントヘッドを取り外します。

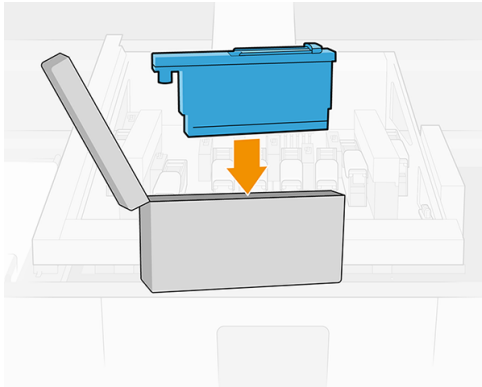


3. プrintヘッドは保護キャップを付けて保管します。

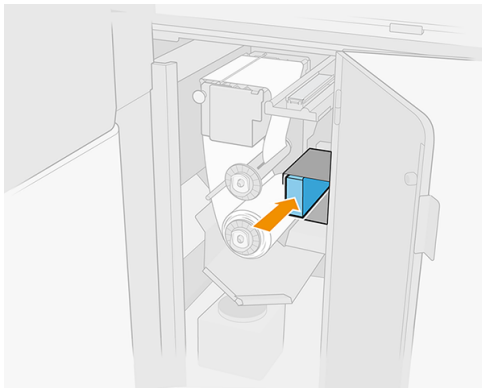




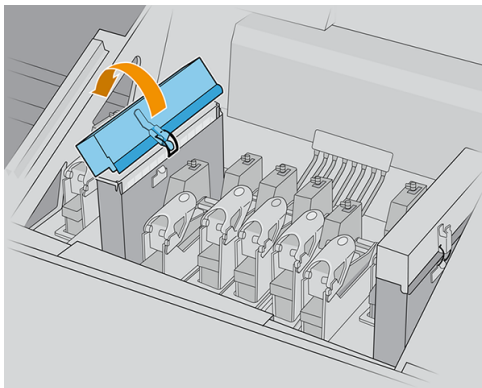
4. 2700W のみ : ホワイト プリントヘッドはストレージボックスに保管します。

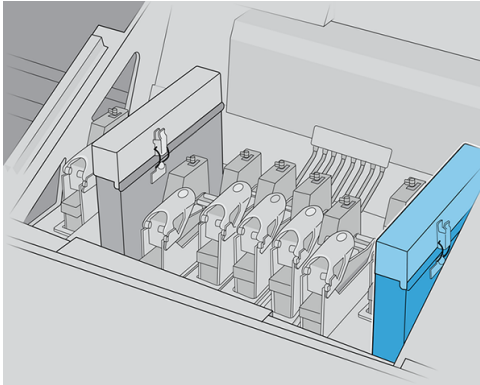
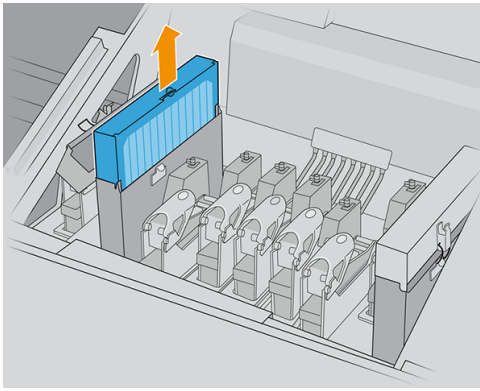


5. 2700W のみ : ストレージボックスをホイールに取り付けます。クリーニングロールドアを閉じます。

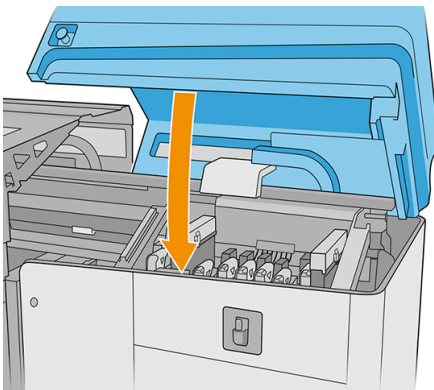


6. エアゾール フィルターを取り外します。



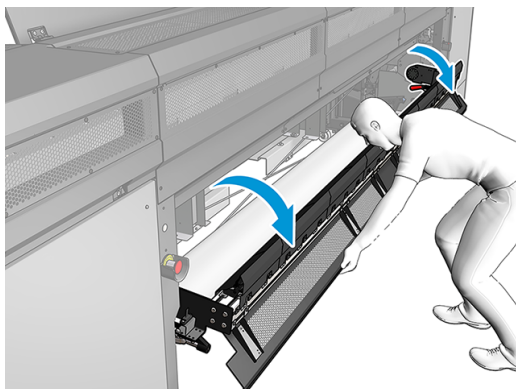


7. キャリッジカバーを閉じます。

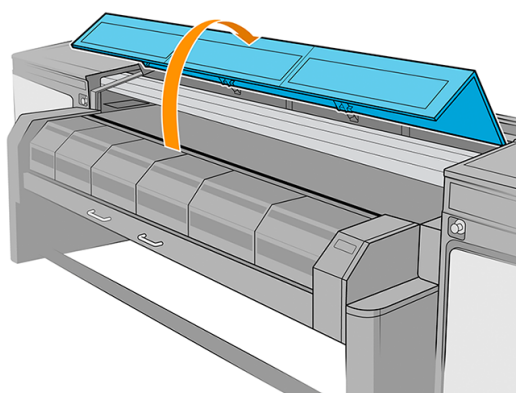


8. スキャン軸を一番上の位置に移動します。
9. プリンタの電源を切ります。
10. メインプリンタスイッチをオフにします。電子ボックスの電子スイッチをオフにします。

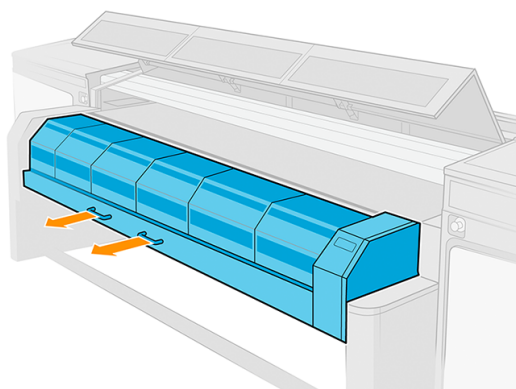
11. 取り付けテーブルを開きます。



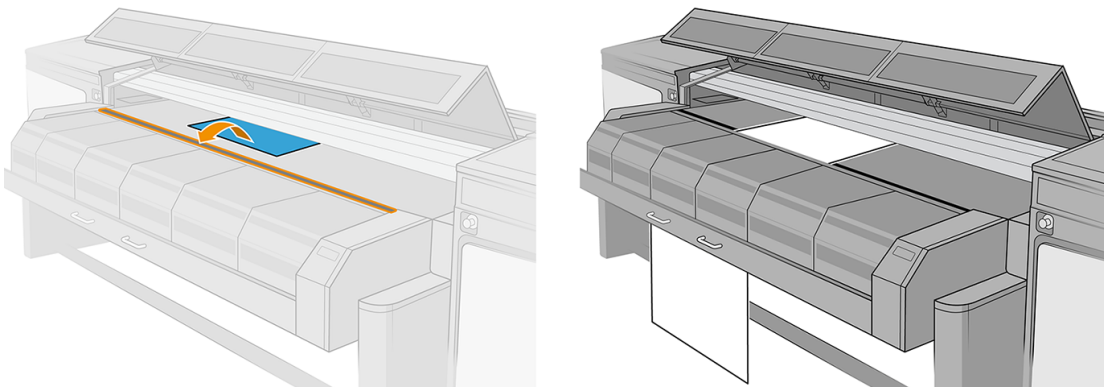
12. 前面のウィンドウを開きます。



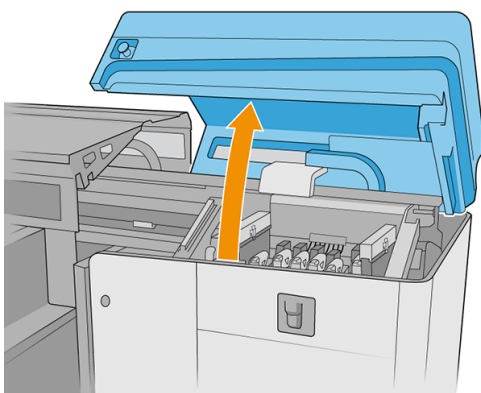
13. 硬化モジュールを開きます。



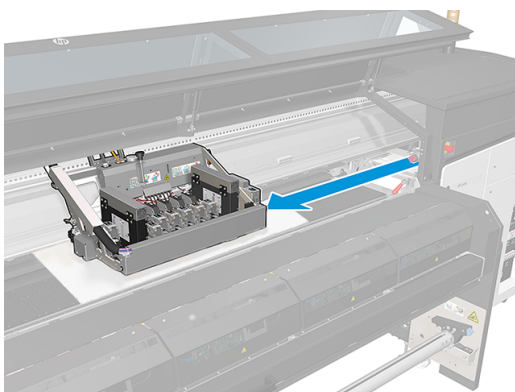
14. プラテンの中央に1枚の素材を置いて汚れを除去します。



15. キャリッジカバーを開きます。




16. 素材の上でキャリッジを左に移動します。

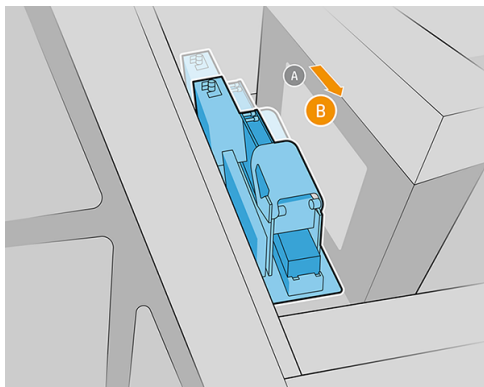


## すべてのスロットをクリーニングする(プリンタの前面および背面)

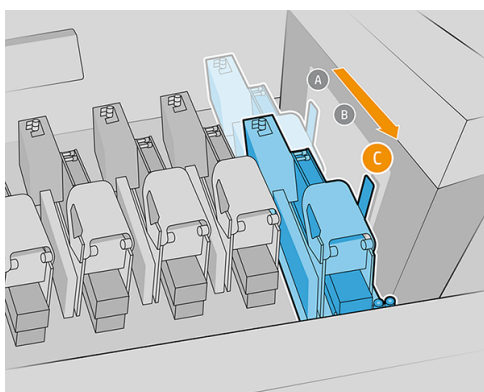
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

-  **重要** : 2700W のみ : 可動スロットシステムの初期設定をメモしてください。プロセスの最後に、初期設定を復元する必要があります。

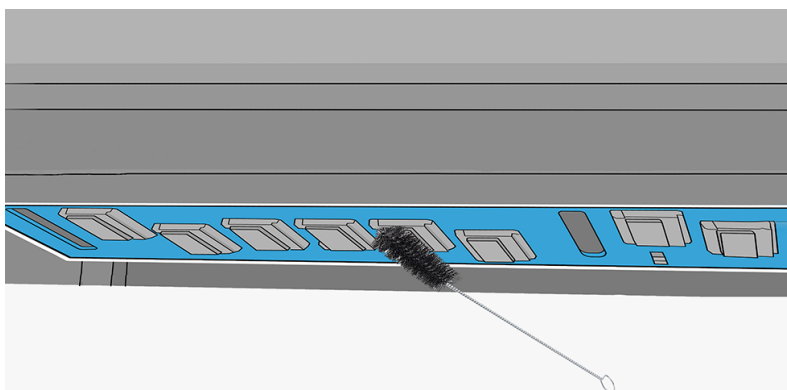
1. 2700W のみ：プリントヘッド1をオーバーフラッド設定に移動します。



2. 2700W のみ：プリントヘッド7をオーバーフラッド設定に移動します。



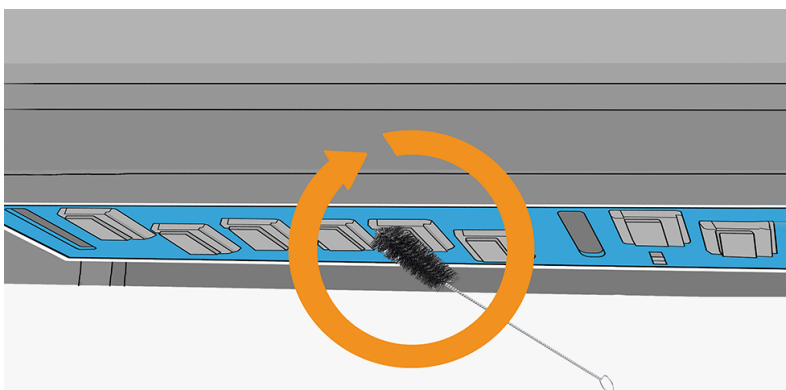
3. プリンタの正面からキャリッジとプラテンの間にブラシを挿入します。



4. ブラシを時計回りに回転させ、各プリントヘッドスロットのアンダーキャリッジをクリーニングします。

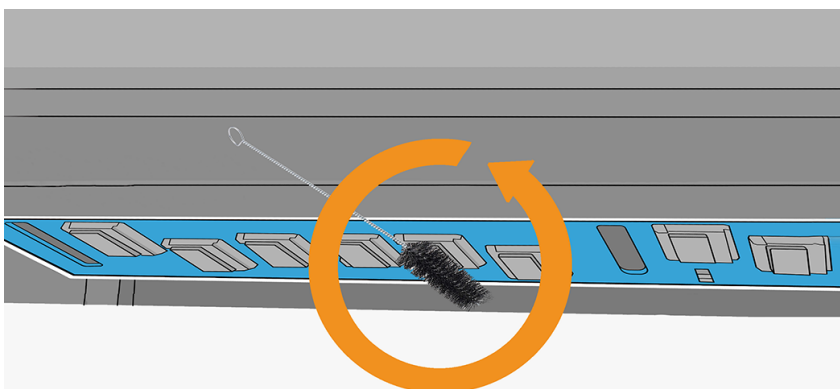
**⚠ 注意：**プリントヘッドポケット内のEEピンに注意してください。

**📄 注記：**この手順では、一部のスロットの背面に到達できません。それらの領域は、以降の手順でクリーニングされます。

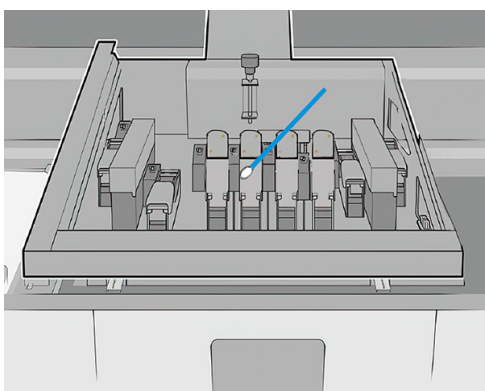


5. プリンタの背面に移動し、キャリッジとプラテンの間にブラシを挿入します。ブラシを反時計回りに回転させ、各プリントヘッドスロットのアンダーキャリッジをクリーニングします。

**⚠ 注意：**プリントヘッドポケット内のEEピンに注意してください。



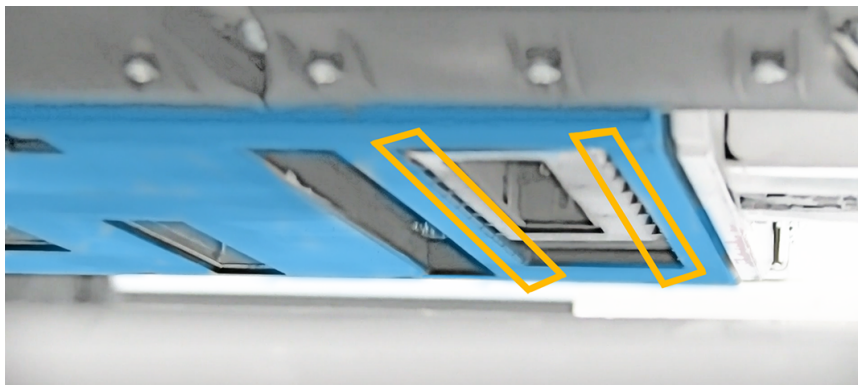
6. キットに付属する1本の綿棒を使用して、スロットの内側を拭きます。




## 2700Wのみ：プリントヘッドスロット1および7：アンダーキャリッジプロテクタのリブをクリーニングする

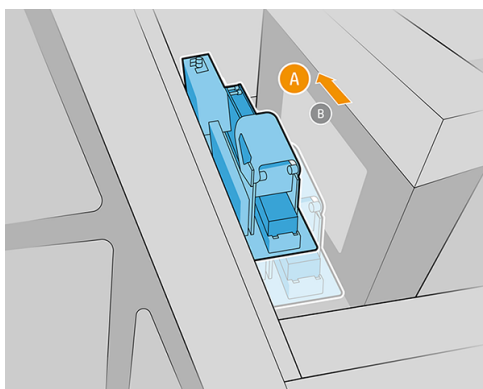
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. プリンタの背面から、キャリッジとプラテンの間にブラシを挿入します。アンダーキャリッジプロテクタのリブに焦点を当て、アンダーキャリッジを左右にブラシで払って汚れを取り除きます。




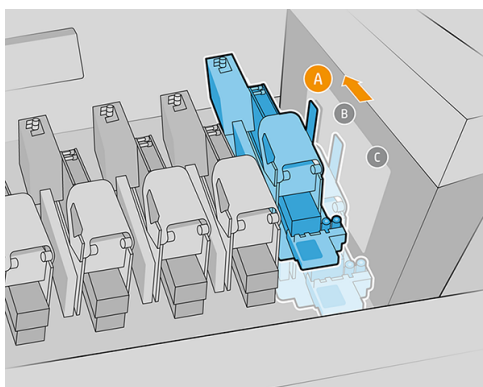
2. プrintヘッドスロット1をカラー位置に移動します。ネジを緩めてスロットを手前に押しします。

 **重要:** 可動スロットシステムの初期設定をメモしてください。プロセスの最後に、初期設定を復元する必要があります。



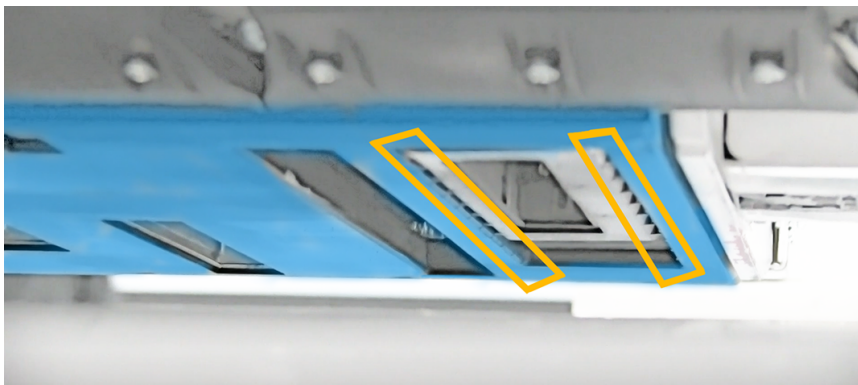
3. プrintヘッドスロット7をアンダーフラッド位置に移動します。ネジを緩めてスロットを奥まで押し込みます。

 **重要:** 可動スロットシステムの初期設定をメモしてください。プロセスの最後に、初期設定を復元する必要があります。

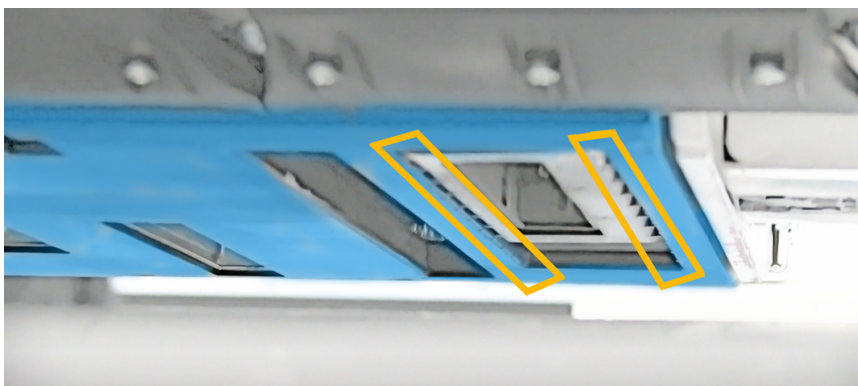




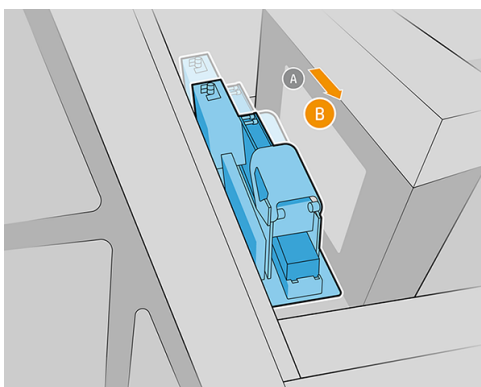
4. プリンタの背面から、キャリッジとプラテンの間にブラシを挿入します。アンダーキャリッジプロテクタのリブに焦点を当て、アンダーキャリッジを左右にブラシで払って汚れを取り除きます。



5. プリンタの前面から、キャリッジとプラテンの間にブラシを挿入します。アンダーキャリッジプロテクタのリブに焦点を当て、アンダーキャリッジを左右にブラシで払って汚れを取り除きます。

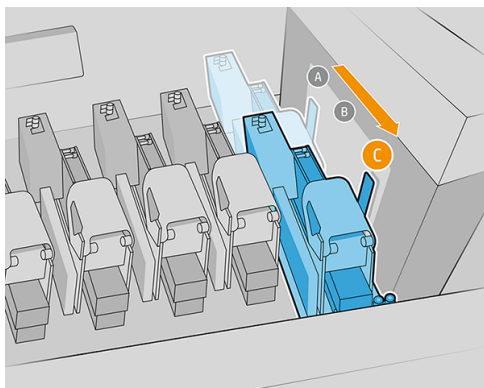


6. プrintヘッドスロット1をオーバーフラッド位置に移動します。プリンタの前面からクリーニングプロセスを繰り返します。

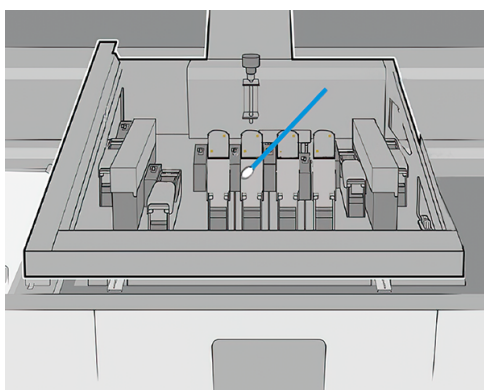




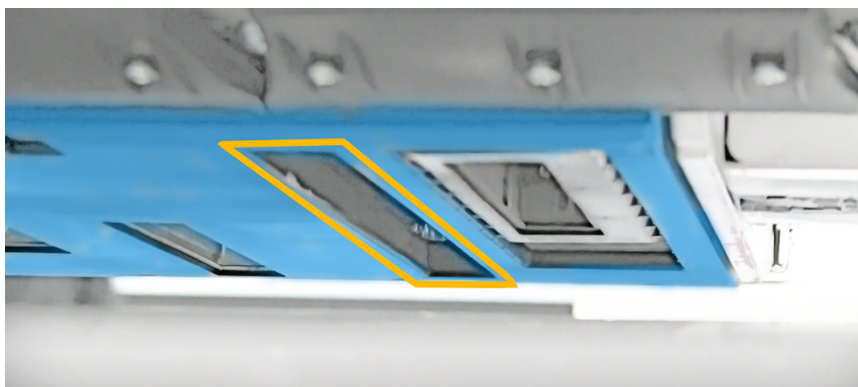
7. プリントヘッドスロット7をオーバーフラッド位置に移動します。プリンタの前面からクリーニングプロセスを繰り返します。



8. キャリッジの上部から、各プリントヘッドスロットに綿棒を挿入し、各スロットのシールを慎重にクリーニングします。



9. エアロゾル除去スロットへのキャリッジとプラテンの間にブラシを挿入します。アンダーキャリッジを左右にブラシで払って汚れを取り除きます。

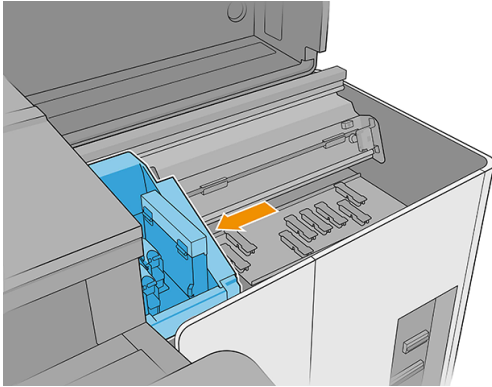


## クリーニング操作を完了する

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

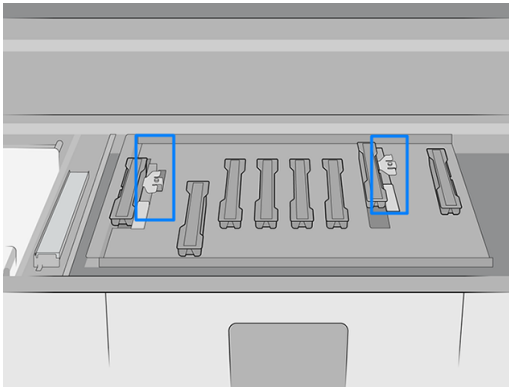
1. 2700W のみ：可動スロットシステムを元の設定にリセットします。

2. 必要に応じて、キャッピングシステムの状態を確認し、クリーニングします。

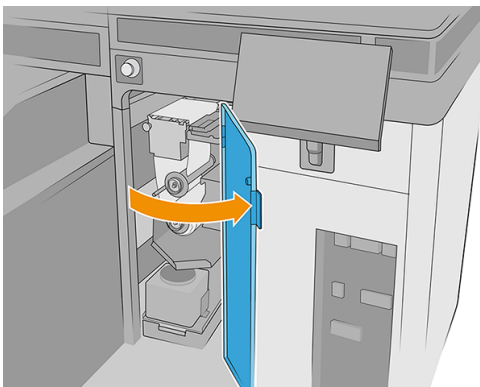


3. 2700W のみ：キャッピングステーションを元の設定にリセットします。

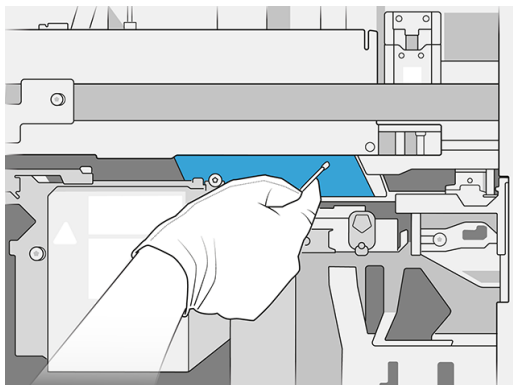
**⚠ 注意：**2700W のみ：可動スロット設定とキャッピング設定は軸合わせする必要があります。そうしないと、プリントヘッドの状態に影響を与える可能性があります。



4. プラテンから素材を慎重に取り除いて廃棄します。  
5. クリーニングロールドアを開きます。

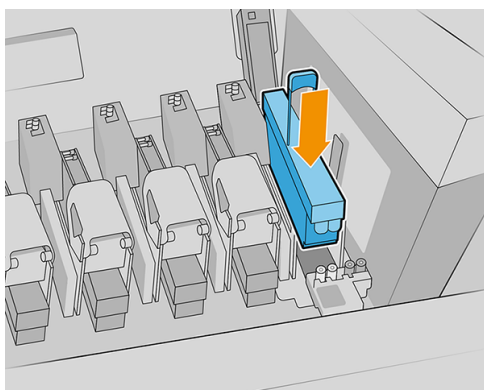



6. キャリッジをプリントヘッドクリーニングロールの上に移動します。キットに付属の1本の綿棒に汎用工業用洗浄剤(Simple Green など)を少し湿らせ、ラインセンサーを拭きます。乾いた布を使用して残っている洗浄剤の泡を取り除きます。



7. プrintヘッドをスロットに挿入します。

⚠ **注意** : 2700W のみ : キャリッジ、キャッピングステーション、プリントヘッドは、正しく密封されている必要があります。

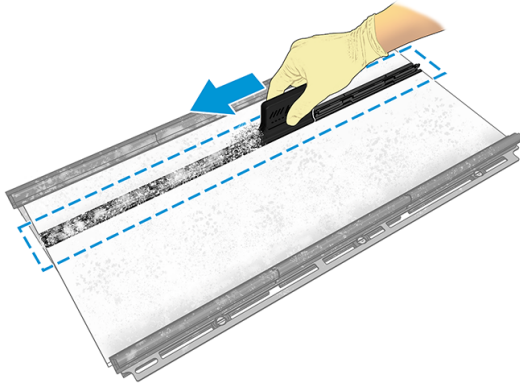


8. 2700W のみ : 可動スロットシステムの設定が正しいことをもう一度確認します。
9. カバーを全て閉めてください。
10. プリンタの電源を入れます。
11. リアーム ボタンが点滅するまで待つてから押します。
12. Internal Print Server のプリンタ ステータスが **起動中** から **アイドル** に変わるまで待ちます。
13. Internal Print Server で、スキャンビームをプリント位置まで移動させます。
14. Internal Print Server で、[プリントヘッド] アプリを選択し、省略記号アイコン  をタップしてから [交換] をタップします。

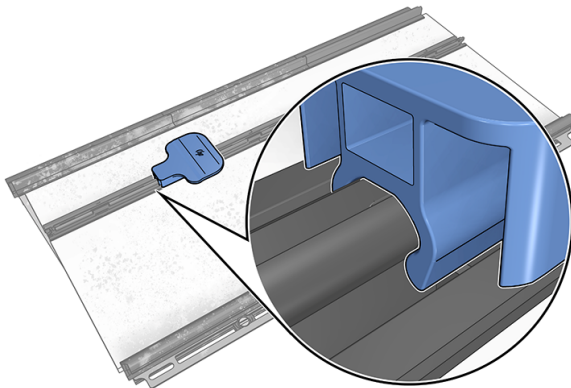
## インクコレクターセントラルリブのクリーニング

この操作の最初から最後まで、手袋を使用することをお勧めします。

1. プリンタからインクコレクターを取り外します (5ページの「キットの取り外し」を参照)。
2. キットに付属のクリーニングツールを使用して、インクコレクターセントラルリブをクリーニングします。クリーニングツールをセントラルリブに取り付け、それに沿ってスライドさせて蓄積したインクを取り除く必要があります。



3. セントラルリブに素材エッジホルダーが正しく取り付けられていることを確認します。








4. 蒸留水で湿らせた布を使用してクリーニングツールをクリーニングします。



## CK ストレージボックスとカラーキャリブレーションセンサーボックスのクリーニング

この操作の最初から最後まで、手袋を使用することをお勧めします。

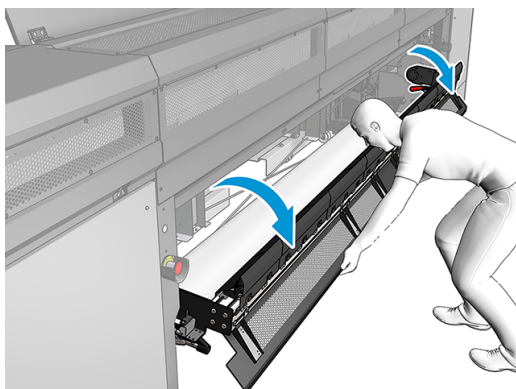
表 2-8 警告ラベル

火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部品に注意	感電による危険
				
安全性の詳細については、プリンタのユーザーガイドを参照してください				

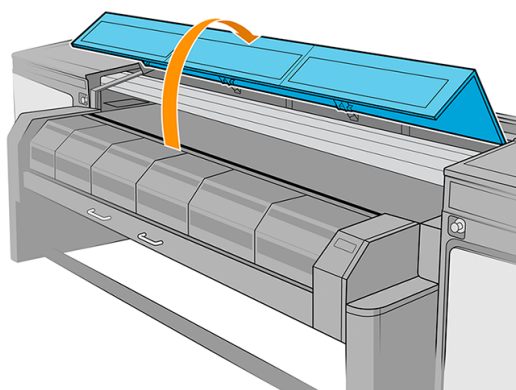
## CK ストレージボックスのクリーニング

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

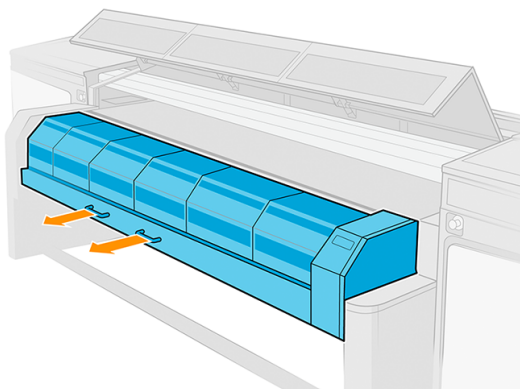
1. スキャン軸を一番上の位置に移動します。
2. プリンタの電源を切ります。
3. メインプリンタスイッチと電子ボックスの電子スイッチをオフにします。
4. 取り付けテーブルを開きます。



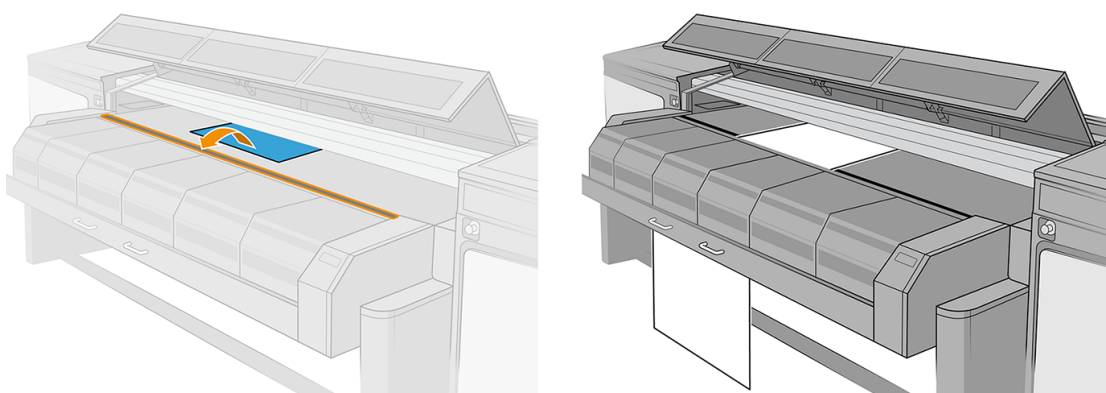
5. 前面のウィンドウを開きます。



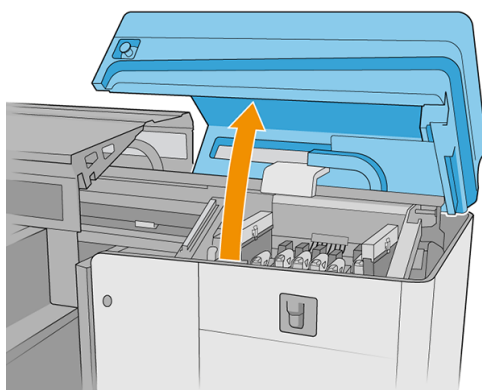
6. 硬化モジュールを開きます。



7. プラテンの中心に1枚の素材を置いて汚れを除去します。

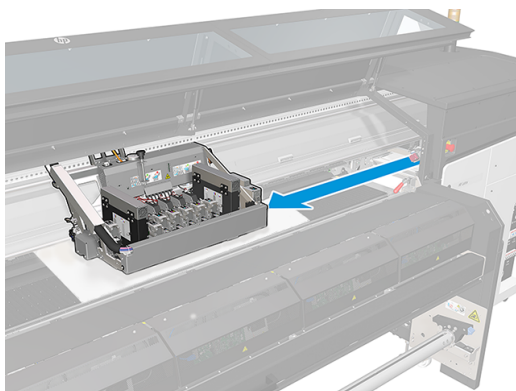


8. キャリッジカバーを開きます。

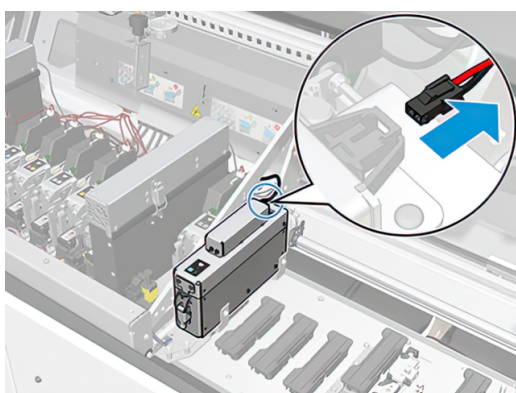




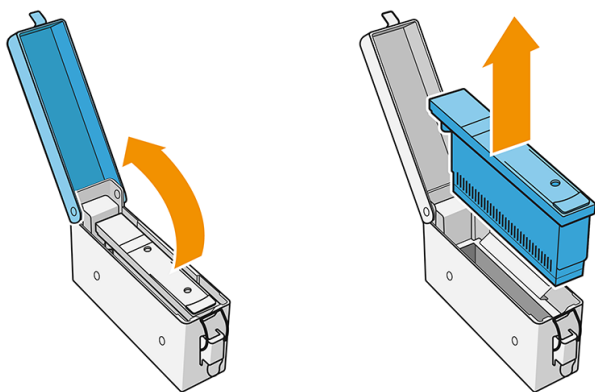
9. 素材の上でキャリッジを所定の位置に移動します。



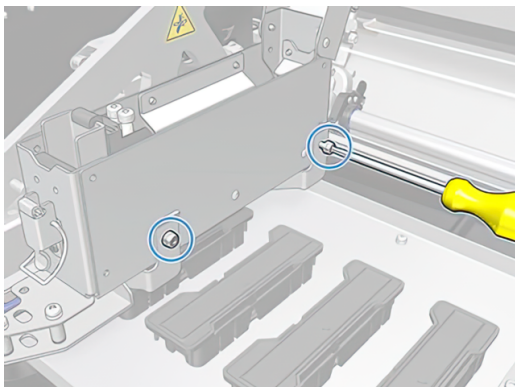
10. ストレージボックススイッチを切り離します。



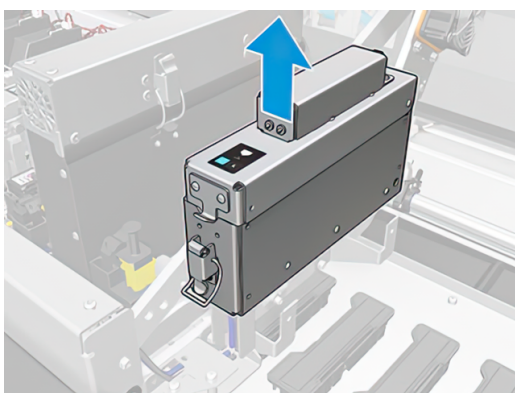
11. ストレージボックスにプリントヘッドが入っている場合は取り出します。



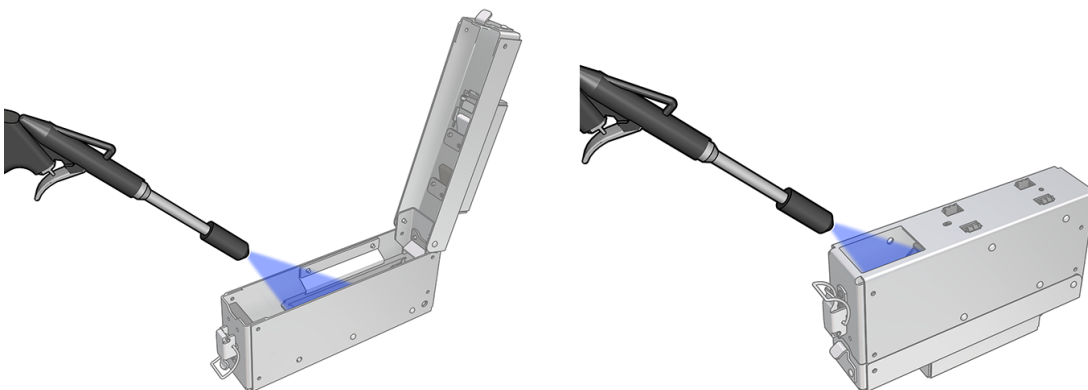
12. トルクス 15 ドライバを使用して、ストレージボックスから 2 本のネジを取り外します。



13. ストレージボックスを取り外します。

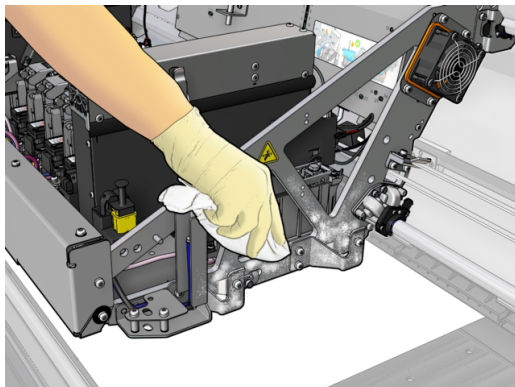


14. 圧縮空気を使用して、ストレージボックスの内部表面と外部表面から汚れを吹き飛ばします。

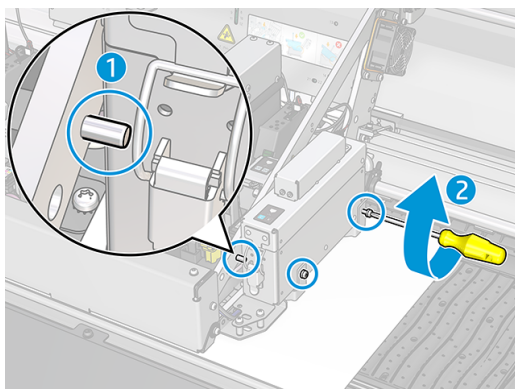




15. 糸くずの出ない布でサポートプレートをクリーニングし、蓄積したエアゾールを取り除きます。



16. ストレージボックスを取り付け直します。フロントピンに接触するように配置し、前の手順で取り外したネジを交換します。

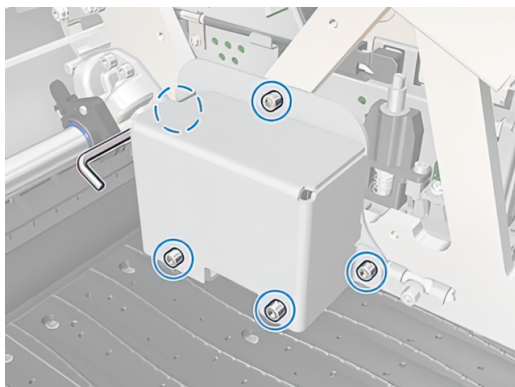


17. プリントヘッドをボックスに戻し、スイッチを再接続します。

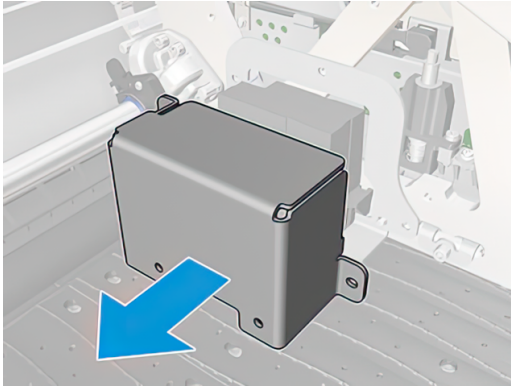
## カラーキャリブレーションセンサーボックスのクリーニング

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

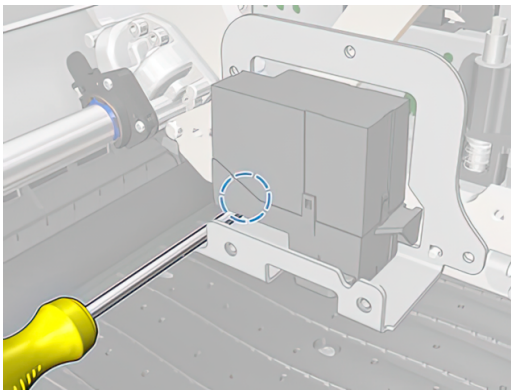
1. 六角レンチ(サイズ3)を使用して、カラーキャリブレーションボックスから5本のネジを取り外します。



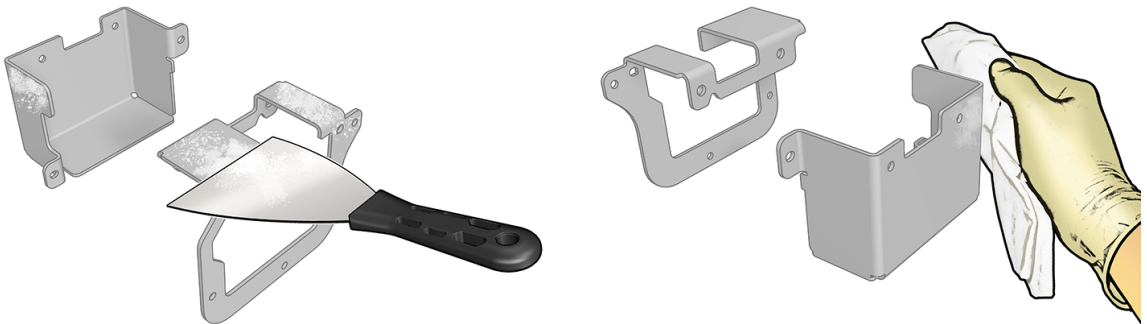
2. ボックスの外側カバーを取り外します。



3. 六角レンチ (サイズ 3) を使用して、カラーキャリブレーション プレートからネジを取り外します。



4. 付属の金属パテナイフを使用して、カバーとプレートから乾燥したインクをこすり取ります。乾燥したインクは、よく底面に蓄積します。付属の糸くずの出ない布でクリーニングを完了できます。



5. プレートとカバーを戻し、前の手順で取り外したネジを使用して装着し直します。
6. プラテンから素材を慎重に取り除いて廃棄します。
7. プリンタの電源を入れます。
8. リアーム ボタンが点滅するまで待ってから押します。
9. Internal Print Server のプリンタ ステータスが **起動中** から **アイドル** に変わるまで待ちます。

- Internal Print Server で、スキャンビームをプリント位置まで移動させます。

## 乾燥ディフューザーのクリーニング

この操作の最初から最後まで、手袋を使用することをお勧めします。

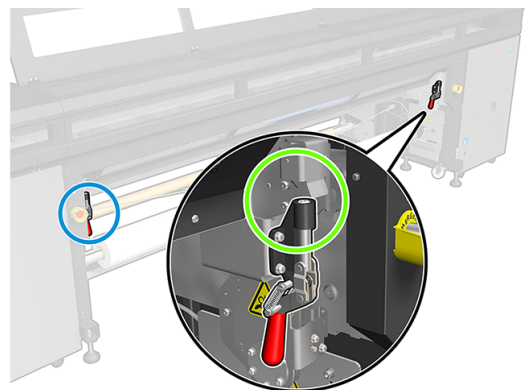
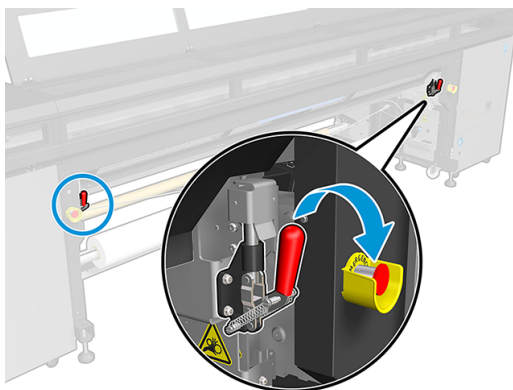
表 2-9 警告ラベル

火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部品に注意	感電による危険
				
安全性の詳細については、プリンタのユーザーガイドを参照してください				

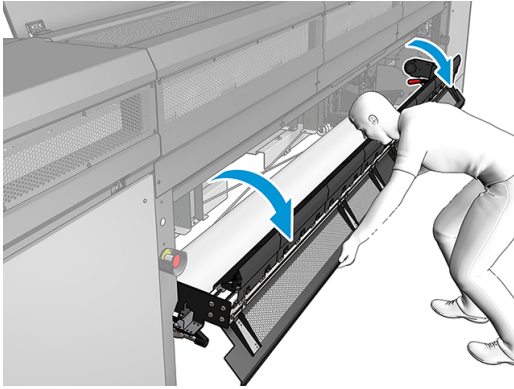
- プリンタでプリントが行われていないことを確認してください。
- 素材を取り外し、キャリッジビームを上げます。



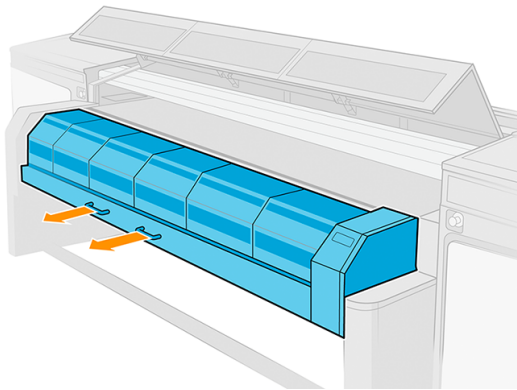
- プリンタの電源を切ります。
- 取り付けテーブルラッチを開きます。



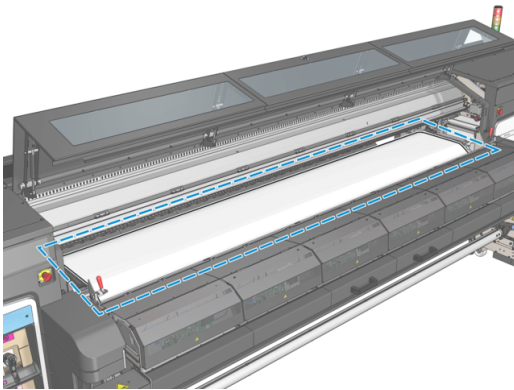
5. 取り付けテーブルを開きます。



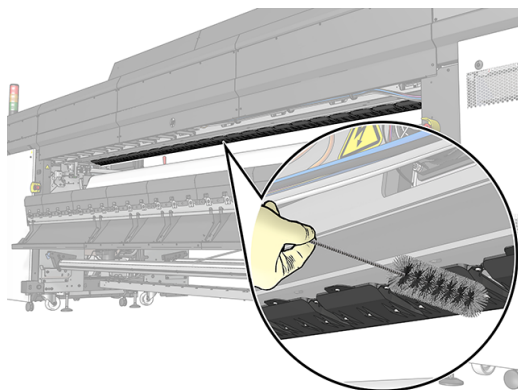
6. 硬化モジュールを開きます。



7. プラテン全体を1枚の素材で覆い、汚れを除去します。テープを使用して素材を所定の位置に固定します。



8. プリンタの背面に移動し、箱の内容物に付属のブラシを使用して、乾燥ディフューザーに蓄積している乾燥したインクをクリーニングします。



9. プラテンから素材を慎重に取り除いて廃棄します。
10. 硬化モジュールを閉じます。
11. 取り付けテーブルを閉じます。
12. プリンタの電源を入れます。
13. リアーム ボタンが点滅するまで待ってから押します。
14. Internal Print Server のプリンタ ステータスが **起動中** から **アイドル** に変わるまで待ちます。
15. Internal Print Server で、スキャン ビームをプリント位置まで移動させます。

## 硬化衝突プレート (外部) と硬化ファンをクリーニングする

以下のセクションでは、このトピックについて詳しく説明します。

表 2-10 警告ラベル

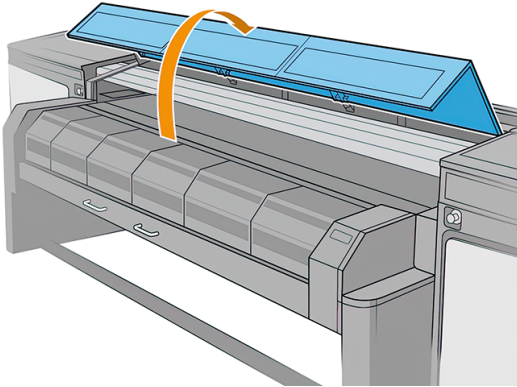
火傷の恐れ	損傷の危険	指が巻き込まれる危険	可動部品に注意	感電による危険
安全性の詳細については、プリンタのユーザー ガイドを参照してください				

## 硬化衝突プレート (外側) のクリーニング

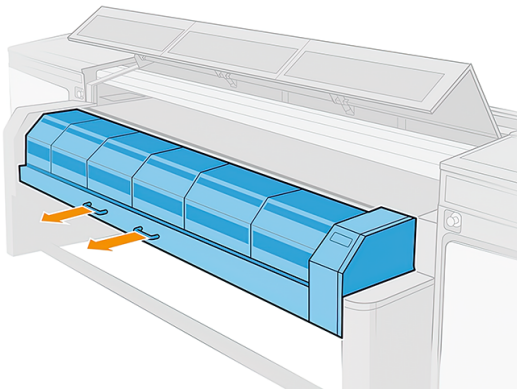
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。



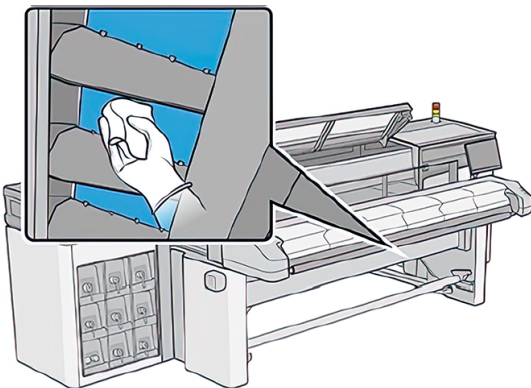
1. 前面のウィンドウを開きます。



2. 硬化モジュールを引き出します。



3. 硬化モジュールの下をクリーニングするために、床の上に横になります。




4. 汎用工業用洗剤 (Simple Green など) で湿らせた糸くずの出ない布で、プレートからインクを完全に取り除きます。
5. ブラシを使用して、穴からインクを取り除きます。
6. クリーナーが蒸発するまで待ちます。
7. 硬化モジュールと前面のウィンドウを閉じます。

## 硬化ファンのクリーニング

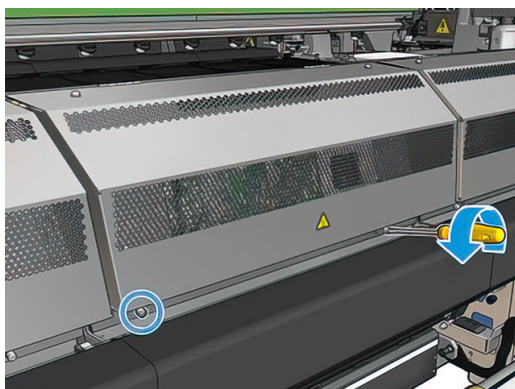
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. プリンタの電源を切ります。

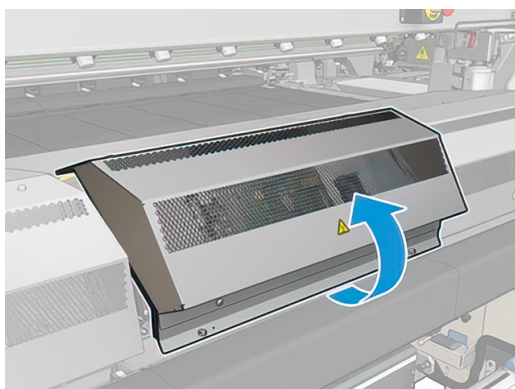
 **重要**：硬化および乾燥ファンが回転を停止するまで待ちます。

---

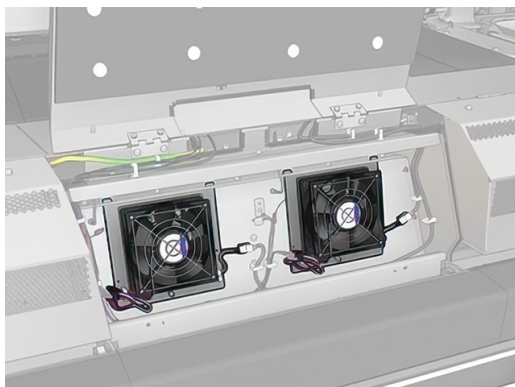
2. ドライバを使用して、硬化モジュールのネジを外します。



3. PCA モジュールを上げて、内側に手が届くようにします。

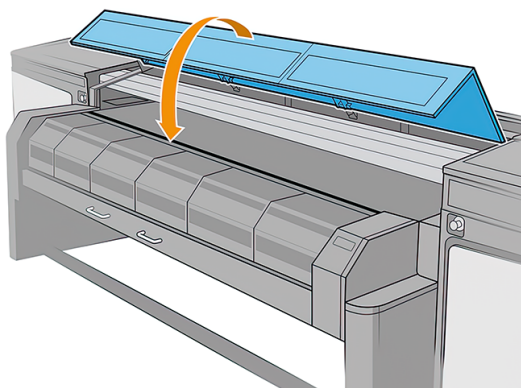


4. ファンをクリーニングします。



5. PCA モジュールを閉じます。

6. ネジを再度挿入してドライバで締めることにより、硬化モジュールを固定します。
7. 前面のウィンドウを閉じます。



8. プリンタの電源を入れ、リアム ボタンが点滅するまで待ちます。
9. リアム ボタンを押します。
10. リア画面のプリンタ ステータスが **起動中** から **アイドル** に変わるまで待ちます。

## 硬化モジュールの多孔プレートをクリーニングする

多孔プレートとは、硬化アセンブリにある、穴の開いた金属製シートです。この穴を通じて、硬化ファンにより熱風が素材に吹き付けられます。

プリンタのユーザー ガイドを参照してください。

## 凝縮液、ウィンドウのゴム、下部プレート面の確認とクリーニング

この手順は、プリンタの一般的な確認とクリーニングに含まれています。

プリンタのユーザー ガイドを参照してください。

## インクコレクター対応の素材のトラブルシューティング

問題が発生した場合の推奨事項を示します。

### インク コレクター対応の素材にマークが付く

この問題は、素材に接触したコンポーネントが汚れてたり、素材やそのコーティングを損傷させた場合に発生します。

ピンチホイールの圧力が正しいことを確認した後、ダイバーター、プリントプラテン、および特にインク コレクター フォームに過度な汚れが付いていないかチェックし、必要に応じてクリーニングします。

マークが素材の長さに沿って連続している場合、プリンタのインプット側で素材のコーティングにむらがないか確認します。



## 粒状感と鮮明でないテキスト

この問題は、主にプリントヘッドのキャリブレーションや素材送りが正しくない場合に発生します。

軸合わせのプロット線がメッシュにプリントされて見えなくなる可能性があるため、多孔性素材におけるプリントヘッドの軸合わせは難しい場合があります。このような場合、自己粘着ビニールまたはプリントする素材と同じような幅を持つ素材でプリントヘッドの軸合わせを実行することをお勧めします。

インクコレクターを使用すると、素材送りセンサーが自動的に無効になり、素材送りがドライブローラーエンコーダにより制御されます。使用する素材で最高の結果が出るように素材送り係数を修正するには、プリント時に素材送りのキャリブレーション調整を手動で行うことができます。テキストスタイルは、テンションが正しくないと容易に伸びて素材送りの問題が発生する可能性があるため、素材送りで問題が発生する場合は素材の変形に特に注意してください。素材のデフォルト設定を参照してください。

## 色の一貫性

テキストスタイルやメッシュマテリアルの多孔性と不均一性のため、カラーキャリブレーションは無効であり、ロール紙、プリントヘッド、プリンタ間で色の一貫性は保証されません。

長時間実行時の色の一貫性を高めるため、同じバッチの素材を使うようにしてください。プリンタ間で色の一貫性を確保するには、素材の外部プロファイリングが必要です。

同じ素材の異なるバッチを使用した場合の色の違いの例を次に示します。

